無印良品

DVDミニコンポ

形名 DC-PT01M

取扱説明書

- お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所に大切に保管してください。

保証書付 裏表紙にあります

もくじ

付属品をお確かめください。

リモコン………1

映像接続コード………1

FM室内アンテナ………1

AMループアンテナ………1

本書…………1
(保証書付)

ステレオミニプラグコード………1
(外部機器接続用)

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

△ の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
⃠ の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。
● の記号は「しなければならない行為」を示します。

お願い

「**安全上のご注意**」のイラストと本機とでは若干形状等が異なることがありますがご了承ください。

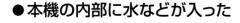
⚠ 警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体の ⏻ (電源)ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

● 煙が出ている、変なにおいや音がする(異常状態)

煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。

● 本機の内部に水などが入った

● 異物が本機の内部に入った

● 映像や音が出ないなど(故障状態)

● 倒したり落としたりして、キャビネットを破損した

⚠ 警告

電源について

■ 電源コード接続時の注意

次のことをお守りください。誤った使い方をすると発熱などにより、火災の原因となります。

- 電源プラグはコンセントへ確実に接続する。
- 電源コードは束ねたまま使用しない。
- たこ足配線はしない。

■ 電源コードを傷つけない

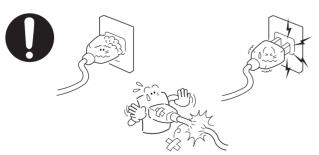
無理な使いかたをすると電源コードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

- 電源コードの上に重いものを乗せる。
- 途中でつぎ足したりして加工する。
- 無理に折り曲げる。
- 傷をつける。
- ねじったり、引っ張ったりする。
- 熱器具に近づける。

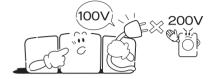
禁　止

電源コードが傷んだときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 定期的に点検を

設置時から1年に1度は電源コンセントと電源プラグの間にホコリが付着していないか、電源コードに傷みがないか、電源プラグが抜けかけていないかなどを点検してください。

■ 電源電圧100V以外や国外では使用しない

表示された電源電圧(AC 100 V)以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
また、本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

禁　止

■ 雷が鳴り出したら

電源プラグには絶対に触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

■ 乾電池は充電しない(リモコン用)

乾電池の破損、液もれにより、火災、けがの原因となります。

禁　止

使用方法・設置

■ 分解しない

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

■ 本機の上に水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。

禁　止

⚠ 警告

■ ぬらさない

- 本機をぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、水辺、雨天の中などでは使用しないでください。

水ぬれ禁止

■ 異物を入れない

通風孔やディスクトレイなどから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。（特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。）火災、感電の原因となります。

禁　止

■ 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機の後部などに通風孔があり、次のような使い方はしないでください。

- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く。

禁　止

■ 壁にぴったりつけない

本機の設置は、壁から10 cm以上の間隔をあけてください。また、他の機器との間は少し離してください。
ラックなどに入れるときは、本機の天面および背面からそれぞれ10 cm以上のすきまをあけてください。すきまがないと、内部に熱がこもり火災の原因となります。

禁　止

⚠ 注意

■ 電源プラグを抜くときの注意

ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ 設置場所に注意

禁　止

- じゅうたんやたたみ、塩化ビニール製の床材や家具などの上に設置するときは、下に板などを敷いてください。直接置くと床面が変色することがあります。
- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

■ スピーカーケーブルは固定する

スピーカーのケーブルに足や手を引っかけると、スピーカーが倒れたり、落下して、けがや故障の原因となります。

■ 本機やスピーカーを不安定な場所に置かない

禁　止

平らで水平な場所に設置してください。不安定な場所に置きますと倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 本機の上に重いものを置かない

禁　止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本機やスピーカーの上に乗らないでください。（特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。）

■ 持ち運びの注意

電源プラグを抜く

ディスクを取り出して電源を切り、外部接続をすべて外してから持ち運びしてください。接続したまま持ち運ぶと、コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ 他のスピーカーは接続しない

禁　止

付属のスピーカー以外を接続すると、極端に音量が大きくなったり、スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

■ スピーカーの前に割れやすいものなどを置かない

禁　止

スピーカーからの空気圧により倒れたり、落下して、故障やけがの原因となることがあります。

■ ディスクトレイに手を入れない

指をはさまれ
ないよう注意

けがの原因となることがあります。（特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。）

■ 変形やひび割れしたディスクは使用しない

禁　止

変形、ひび割れ、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
また、セロハンテープやレンタル店のラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクも使用しないでください。

■ ヘッドホンやイヤホンの音量に注意

音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 音量に注意

- 電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

禁　止

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ 他機器との接続について

テレビ、ビデオ、オーディオ機器などを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続してください。電源を入れたまま接続すると、感電、けがの原因となることがあります。

■ 電磁波の発生する機器に近づけない

禁　止

携帯電話、充電器や電磁波の発生する電気製品に近づけないでください。電磁波のためにノイズの影響が生じることがあります。

■ クレジットカードなどをスピーカーに近づけない

禁　止

本機のスピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどは、スピーカーのそばに置かないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

■ 長期間（1ヶ月以上）使用しない場合やお手入れの際の注意

電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 内部の掃除について

1年に1度は内部の掃除について、お買い上げの販売店にご依頼ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■ 乾電池（リモコン用）使用上の注意

乾電池の使い方を誤ると、乾電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。

- 単4形乾電池以外は使用しない。
- 極性（⊕と⊖）に注意し、表示通りに入れる。

禁　止

- 種類の異なるものや、新旧の乾電池を混ぜて使わない。
- 乾電池を充電、加熱、分解したり、火や水の中に投入しない。ショートさせない。

- 長期間（1ヵ月以上）使用しないときは、乾電池を取り出しておく。

もし、液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

■ 磁気の発生や影響する場所に近づけない

磁気の発生する近くに本機を置かないでください。また、本機を磁気カード類とも一緒にしないでください。磁気データが壊れて使用できなくなることがあります。

使用上のお願い

つづく

■ 取り扱いについて

- 移動させるとき
  引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。
  変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 長時間ご使用になっていると天板や後部が多少熱くなることがありますが、故障ではありません。
- ふだん使用しないとき
  ディスクを取り出し、電源を切っておいてください。
- 長期間使用しないとき
  機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて使用してください。
- 本機の近くでヘアースプレーや加湿器を使用しないでください。ピックアップレンズがくもったりすることがあります。
- 本体について
  落としたり、重いものを乗せたり、圧力をかけたり、強いショックを与えないでください。故障の原因になります。

■ 設置場所について

本機を再生中、近くに設置したビデオやオーディオ機器の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はビデオやオーディオ機器から離してください。

■ お手入れについて

キャビネットや操作パネルのよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

- よごれがひどいときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
  ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

■ 美しい画面を見るための点検のおすすめ

本機は高精度な技術によって構成された精密な機器です。ピックアップレンズやディスクの駆動部分がよごれたり、摩耗したりすると画質が損なわれます。美しい画面でご覧いただくためには、使用環境（温度、湿度、ほこり）などによって異なりますが、およそ1000時間をめどに点検（清掃、一部部品交換）されることをおすすめします。くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 結露（露付き）について

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。この現象と同じように、本機内部のピックアップレンズや部品内部に水滴がつくことがあります。これを**結露（露付き）**といいます。

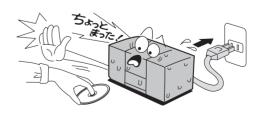
結露はこんなときおきます。

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき

結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。暖かい部屋に入れて本機があたたまると、2～3時間で水滴がなくなります。

- なお、コンセントに接続しておくと**結露（露付き）**が生じにくくなります。

使用上のお願い

ディスクの取扱いと保管

ケースからの出し入れは

<出し方>

<入れ方>

ディスクの取扱いかた

● 再生面には手を触れないでください。

ディスクの保管のしかた

● 直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
● ディスクは必ずケースに入れて保管してください。

ディスクのお手入れのしかた

● ディスクの再生面に指紋やほこりなどのよごれが付着していると、再生時に画像のみだれや音質・画像の劣化の原因になります。再生前に、再生面に付いたよごれを柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、きれいにしてからお使いください。
● 汚れがひどい場合は、水を含ませた柔らかい布で軽く拭き取ったあと、乾いた布でカラ拭きしてください。

● シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

本機を持ち運びするときは

● ディスクを必ず取り出してください。
入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。

CDディスクについてのご注意

● ディスクに紙やシールを貼らないでください。
また、セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がしたあとがあるディスクは使用しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
● ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

(特殊形状ディスクの例)

● ディスクが正しい位置に置かれていないと、ディスクに傷をつけたり故障の原因になることがあります。
● ディスクに傷、指紋、ほこりなどがついていると再生できないことがあります。
● ディスクのラベル面や再生面に傷をつけないでください。
● ディスクを曲げたり反らせたりしないでください。
● ディスクに熱を加えないでください。
● ディスクの挿入中は、再生しなくてもディスクが回転しています。このため、もしディスクを入れた状態で本機に衝撃を加えると、ディスクが破損したり本機が故障する原因となりますのでご注意ください。
● 市販のCDスタビライザは使用できません。
● こんなときに音とびを起こしますので、ご注意ください。
◆本機に強い衝撃を与えたとき。
◆薄い板の上など、振動しやすい場所に置いたとき。
◆ディスクの内容によって音とびを起こすことがあります。その場合は音量を下げてお聞きください。

● **コピーガード付きCD再生について**
CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクについては、当社としては、CD再生機器における再生の保証は致しかねます。CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージの注意文をよくお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。なお、CD規格に準拠しないディスク再生時にのみ支障がある場合、詳細についてはディスクの発売元にお問い合わせください。

お使いになる前に

つづく

再生できるディスク

本機では下記のディスクを再生することができます。

	マーク(ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ	最長再生時間
DVDビデオ	DVD VIDEO	音声＋映像(動画)	12cm	片面ディスク 約4時間
				両面ディスク 約8時間
			8cm	片面ディスク 約80分
				両面ディスク 約160分
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声	12cm	74分
			8cm (CDシングル)	20分
CD-R/CD-RW	COMPACT disc Recordable / COMPACT disc ReWritable	MP3ファイル WMAファイル JPEGファイル	12cm	書き込み内容に準じます
			8cm	
画像CD	FUJICOLOR CD COMPATIBLE	JPEGファイル	12cm	−

ちょっとこれを！

- ディスクラベル面やパッケージに上記のマーク(ロゴ)の入った、JIS規格に適合したディスクをご使用ください。
- 本機はNTSCテレビ(日本のテレビ)方式以外のDVDディスクでは正しく表示しません。
- CD-R/CD-RWでは音楽CDフォーマット、MP3形式、WMA形式の音楽データ、またはJPEGの静止画像が記録されたものに限り再生が可能です。
- DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RWではDVDレコーダーなどでDVDビデオフォーマットで記録されたもので、かつファイナライズ処理されたものに限り再生が可能です。ただし、記録状態によっては再生できないディスクがあります。
  また、VRフォーマットで記録されたディスクやDVD-RAMディスクは再生できません。
- パソコン上でDVD作成ソフトを使用して作成されたDVD-R/DVD-RWにつきましては、動作保証の対象外になります。
- 本機はフジカラーCDに記録されているJPEGデータを再生することが可能です。
- 業務用ディスクの中には、本機で再生できないものがあります。
- パソコンで記録したDVD-R/DVD-RW、CD-R/CD-RWは本機で再生できない場合があります。
- 規格外のディスクを使用した場合、再生を保証できません。偶然に再生ができても、弊社では音質・画質の保証はできません。
- 2層(ダブルレイヤー)のDVD-RやDVD-RAMディスク、またビデオCDは再生できません。

DVD再生時の機能や操作について

DVDの特長として、ディスクによっていろいろな機能や操作ができるものがあります。そのため、取扱説明書の内容と操作手順が一部異なったり、違う操作手順が画面に表示されることがあります。
また、DVDディスクによっては、制作者の意図により再生状態が決められています。本機はディスク制作者が意図した内容に従って再生するため、本機で設定した機能が働かない場合や、本機の操作が制約される場合があります。このような場合は、画面に表示される操作手順にしたがって操作してください。
DVDディスクの機能や操作について、詳しくはディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

ディスクやパッケージのマークについて

DVDのディスクやパッケージには下の表のようなマークが表示されています。それぞれのマークはディスクに記録されている映像・音声の数や、使える機能を表しています。
(DVDによっては機能が使えても、それらのマークが表示されていないものもあります。)

マーク	意味
3	音声が記録されている数を表します。例えば数字が「3」の場合、3種類の音声(英語/スペイン語/日本語など)が記録されています。
2	字幕の数を表します。例えば数字が「2」の場合、2種類の字幕(英語/日本語など)が記録されています。
3	アングル数を表します。DVDでは、角度(アングル)の異なる複数のカメラで撮影したシーンを、好みのアングルを選んで再生できるディスクがあります。
16:9 LB ビスタサイズ シネマスコープサイズ	選択可能な画像アスペクト比を表します。DVDディスクには、映すテレビがワイドテレビか普通のテレビかによって、画像サイズを切り換えられるものがあります。
2	再生可能なリージョンコードを表します。(下記を参照ください。)

本機のリージョンコードは「2」です。
リージョンコードが「2」を含む、または「ALL」のDVDディスクは本機で再生することができます。
- リージョンコードが合っていてもPAL、SECAM方式のディスクは再生できません。

お使いになる前に

タイトル、チャプター、トラックについて

DVDは、**タイトル**という大きい区切りと、**チャプター**という小さい区切りに分かれています。
音楽用CDは、**トラック**で区切られています。

例：DVD

例：音楽用CD

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順に番号がふられています。これらの番号を**タイトル番号**、**チャプター番号**、**トラック番号**といいます。
ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

MP3/WMAについて

MP3とは、MPEGオーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮された音楽データで、WMAとは、Windows Media Audioというファイル形式で圧縮された音楽データです。MP3ファイルは「.mp3」、WMAファイルは「.wma」という拡張子が付いた音楽データファイルのことを言います。

登録商標について

Microsoft、Windows Media™およびWindows® ロゴは米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。
その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™および® マークは明記していません。

JPEGについて

ＪＰＥＧとは、写真やイラストなどの画像ファイルの保存形式（フォーマット）の一種です。JPEGファイルは「.jpg」という拡張子が付いた画像ファイルのことを言います。

この取扱説明書の内容について

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。
DVDの特長として、ディスクによっては、いろいろな機能や操作ができるものがあります。そのため、取扱説明書の内容と操作手順が一部異なったり、違う操作手順が画面に表示されることがあります。このような場合は、画面に表示される操作手順にしたがって操作してください。
操作中に「 ⃠ 」と画面表示されることがあります。これは、本書で説明されている操作方法であっても操作ができないことを表わしています。

DVD CD DATA について
本書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を以下のマークで表わしています。

DVD ：DVDでお楽しみいただけます。
CD ：音楽用CDでお楽しみいただけます。
DATA ：MP3、WMAまたはJPEG形式のデータCDでお楽しみいただけます。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。

本機は、アメリカ合衆国特許権と知的所有権上保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許可が必要です。許可がない場合は家庭用及びその他の一部の観賞用に制限されます。分解したり、改造することも禁止されています。

認定されていないディスクについて

正式な販売地域以外のDVDディスクや業務用ディスクなどの中には、本機での再生が禁止されているものがあります。
正式な販売地域以外のDVDディスクを再生しようとすると、「No Play」というメッセージが画面に表示されるか、これに相当するメッセージが表示され、再生できません。

再生中、再生後の音量にご注意ください

DVDや音楽CDに記録されている音声のレベルはディスクによって異なります。DVDの場合は音声出力モード（5.1chか2chかなど）によっても音声レベルが変わることがあります。音声レベルが低いディスクを再生したときは、音量を上げないと通常のように聞こえない場合がありますが本機の故障ではありません。また、音量を上げてDVDや音楽CDを再生している途中や後に、音量を上げたままファンクションをチューナーやラインなどに切り換えると、大きな音が出ることがありますのでご注意ください。このようなことを防ぐため、ディスクを再生するとき、ファンクションを切り換えるときは、事前に音量を下げるよう心がけてください。

各部のなまえ

本書では基本的にリモコンでの操作を中心に説明しています。

本体の同様の名前のボタンでも操作のしかたは同じです。

● 表示例として使用している表示画面については、実際の画面と異なる場合があります。

前　面

表示窓

背　面

各部のなまえ

本書では基本的にリモコンでの操作を中心に説明しています。

リモコン

PROGRAM(プログラム)ボタン
FUNCTION(機能切り換え)ボタン
FM MODE(ステレオ/モノラル)ボタン
FM/AMボタン
数字(1～9, 0)、**機能**ボタン
CLEAR(クリア)ボタン
SHIFT(シフト)ボタン
RETURN(リターン)ボタン
SET UP(初期設定)ボタン
◀ ▶ ▲ ▼ (方向)ボタン
ENTER(決定)ボタン
TOP MENU(トップメニュー)ボタン
❚❚ (一時停止)ボタン
SLOW(スロー再生)ボタン
◀◀ (サーチ)/－TUNINGボタン
▶▶ (サーチ)/TUNING＋ボタン

RANDOM(ランダム)ボタン
⏻ (電源)ボタン
REPEAT(リピート)ボタン
A-B(A-Bリピート)ボタン
SOUND(音質)ボタン
BASS(低音)ボタン
SURROUND(サラウンド)ボタン
MUTE(消音)ボタン
SUBTITLE(字幕)ボタン
PICTURE MODE(画質)ボタン
SEARCH MODE(サーチモード)ボタン
MENU(メニュー)ボタン
VOL. ▲/▼ (音量)ボタン
ON SCREEN(画面表示)ボタン
■ (停止)ボタン
▶ (再生)ボタン
▶▶❙ (スキップ)/PRESET＋ボタン
❙◀◀ (スキップ)/－PRESETボタン

数字(1～9, 0)、**機能**ボタン、**ピクチャーモード**、**サーチモード**ボタン
● **数字**ボタンとして使うときは、そのままボタンを押します。 ● 以下の**機能**ボタンとして使うときは、SHIFTボタンを押しながら、各ボタンを押します。 ANGLE(アングル)ボタン ZOOM(拡大)ボタン AUDIO(音声)ボタン SLEEP(スリープ)ボタン

ちょっとこれを！

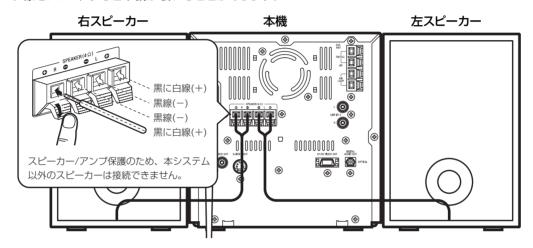
● 兼用キーとして使われるボタンのなまえは、表示が青色になっています。

スピーカーの接続と設置

スピーカーを接続する

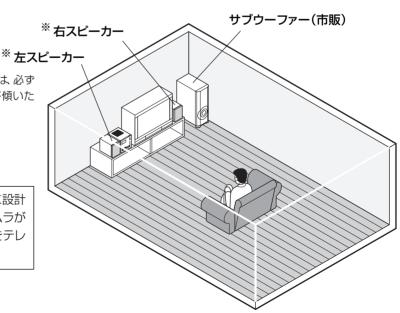
付属のスピーカーを接続します。
左右のスピーカーは、同じものです。

接続時の注意

- 接続するときは、本機の電源プラグがコンセントに差し込まれていない状態でおこなってください。
- 本機の電源コードをコンセントにつないだり、コンセントから抜くときは、テレビや接続している機器の電源を切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷める恐れがあります。
- 本機のスピーカーネットは取り外しできません。
- スピーカーリード線をショートすると本機が壊れることがあります。

スピーカーを設置する

付属のスピーカーは同じものですので、左右どちらにも設置することができます。

※スピーカーをラックなどの上に設置する場合は、必ず上面が水平なラックにしてください。上面が傾いたラックの上には設置しないでください。

本機のスピーカーは、テレビの近くでも使用できるように設計されていますが、設置のしかたによっては、テレビに色ムラが生じることがあります。その場合は、本機のスピーカーをテレビから離して(影響がなくなるまで)設置してください。

ちょっとこれを!

- テレビ内蔵のスピーカーの音量は、可能な限り小さくすることをおすすめします。

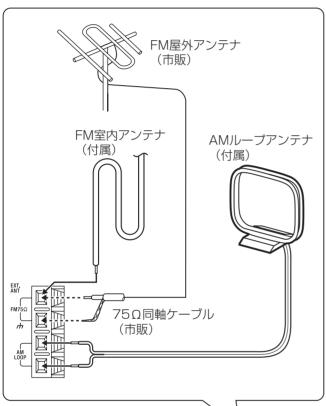
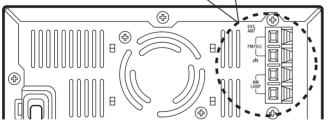
はじめに
接続と準備

アンテナを接続する

付属のAMループアンテナとFM室内アンテナを接続します。

接続時の注意

- 接続するときは、本機の電源プラグがコンセントに差し込まれていない状態でおこなってください。
- 本機の電源コードをコンセントにつないだり、コンセントから抜くときは、テレビや接続している機器の電源を切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷める恐れがあります。

アンテナを接続する

ご注意

- 接続コードはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音や誤動作の原因になります。
- AMループアンテナやFM室内アンテナのコードは電源コード、スピーカーコードやテレビ、パソコンなどから、できるだけ離してください。
- 本機とテレビを近づけて設置すると、設置のしかたによっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを離してご使用ください。また、近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

AMループアンテナの組み立て

図のように組み立てます。

ちょっとこれを！

- AMループアンテナは、アンテナホルダーを組み立て、AM放送が良く受信できるところに置くか、またはアンテナホルダーを壁などに取り付けてご使用ください。取り付けには市販の木ネジをご用意ください。
- AMループアンテナを本機やテレビなどの機器に近づけると、雑音が入りますので、できるだけ離してご使用ください。
- 鉄筋コンクリート造りの建物では、良好な受信ができない場合があります。

FMアンテナについて

付属の室内アンテナ

雑音が少なく最も受信状態の良い位置に固定してください。

市販の屋外アンテナ

付属の室内アンテナでは雑音が入り聞きづらいときには、室内アンテナをはずし屋外アンテナを接続してください。

屋外アンテナの選びかたや設置、接続については、お買い上げの販売店にご相談ください。

端子への接続のしかた

レバーを押しながら、コードを差し込みます。

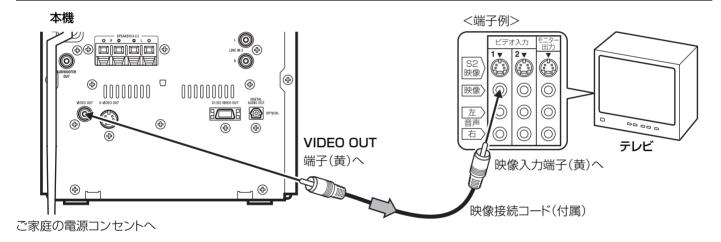
テレビやビデオデッキと接続する

本機の映像をテレビで楽しむことや、本機でビデオデッキなどの音声を迫力のある音響効果で楽しむことができます。

- すべての接続が完了したら、テレビの画面サイズ設定（「4:3LB」、「4:3PS」、「16:9」）をあわせてください。P47
- プログレッシブ方式に対応したテレビと接続するときは、D1/D2 VIDEO OUT端子に接続することでプログレッシブ方式の映像を楽しむことができます。P49

接続時の注意

- 他の機器を接続するときは、接続機器の電源を切り、本機の電源プラグがコンセントに差し込まれていない状態でおこなってください。
- 本機とテレビは直接接続してください。たとえば、本機からの映像をビデオデッキを通してテレビでご覧になると、コピー防止の働きにより画像が乱れることがあります。
- 本機をビデオ一体型テレビに接続した場合、DVDが正常に再生されない場合があります。
- 接続する機器側の端子名や設定は機器によって異なります。また、外部機器側での設定が必要な場合があります。詳しくは、接続する機器の説明書もよくお読みください。
- 本機の電源コードをコンセントにつないだり、コンセントから抜くときは、テレビや接続している機器の電源を切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷める恐れがあります。

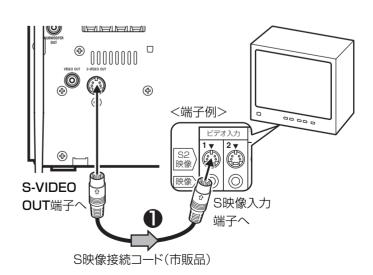
テレビと接続する

■ 映像ケーブルの接続方法を選ぶ

例1：S映像入力端子のあるテレビと接続する場合

黄色の映像接続コードで接続する代わりに、S映像接続コードで接続するとよりきれいな映像が楽しめます。このとき、VIDEO OUT端子の接続は外しておくことをおすすめします。

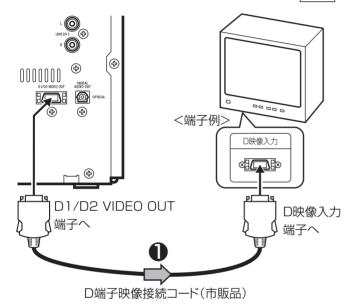
1. **市販のS映像接続コードで本機のS-VIDEO OUT端子とテレビのS映像入力端子を接続する。**
2. **初期設定の「Video Out」を「S-VIDEO」に設定する。** P48

ちょっとこれを！

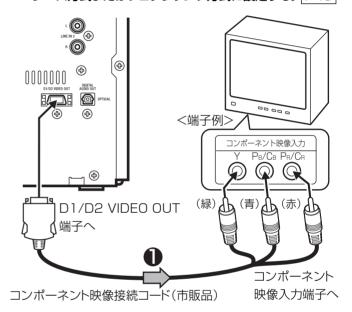
- VIDEO OUT端子やS-VIDEO OUT端子接続の場合はプログレッシブ機能は楽しめません。

テレビやビデオデッキと接続する（つづき）

例2：D端子のあるテレビと接続する場合

本機のD1/D2 VIDEO OUT端子の信号に対応した入力端子を持つテレビやプロジェクターに接続することにより高画質の映像を楽しむことができます。本機のD1/D2 VIDEO OUT端子は、接続する機器のD1、D2、D3、D4のいずれの端子にも接続することができます。また、本機はインターレース方式またはプログレッシブ方式、両方の映像出力方式に対応しています。

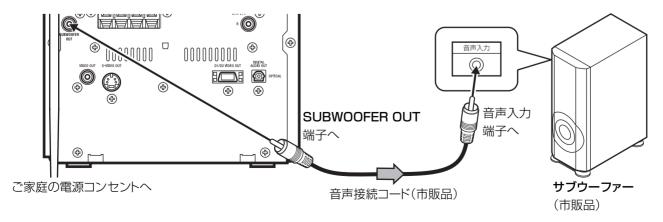
1. **市販のD端子映像接続コードで本機のD1/D2 VIDEO OUT端子とテレビのD映像入力端子を接続する。**
2. **初期設定の「Video Out」を「D1/D2」に設定する。** P48
3. **本機の映像出力方式を接続したテレビに合わせて、インターレース方式またはプログレッシブ方式に設定する。** P49

例3：コンポーネント映像入力端子のあるテレビと接続する場合

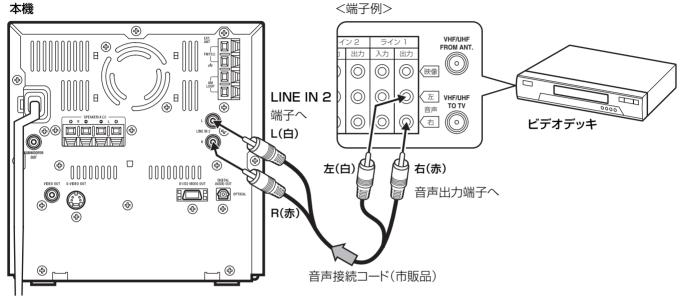
本機のD1/D2 VIDEO OUT端子はコンポーネントビデオ入力端子を持つテレビやプロジェクターに接続することができます。輝度、色差信号が独立して出力されるので、映像の本来の色を忠実に再現することができます。また、本機はインターレース方式とプログレッシブ方式、両方の映像出力方式に対応しています。

1. **市販のコンポーネント映像変換用D端子接続コードで本機のD1/D2 VIDEO OUT端子とテレビのコンポーネント映像入力端子を接続する。**
2. **初期設定の「Video Out」を「D1/D2」に設定する。** P48
3. **本機の映像出力方式を接続したテレビに合わせて、インターレース方式またはプログレッシブ方式に設定する。** P49

ちょっとこれを！

- D1/D2 VIDEO OUT端子とS-VIDEO OUT端子は両方同時に接続しないでください。両方接続するとテレビ画面が乱れることがあります。

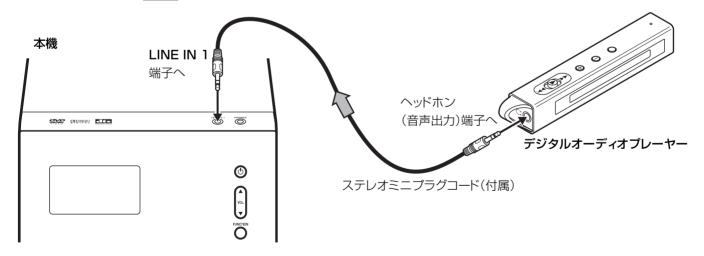
サブウーファーを接続する

サブウーファーを本機のSUBWOOFER OUT端子に接続すると、迫力ある重低音を楽しむことができます。

ビデオデッキなどの音声を接続する

ビデオデッキなどの音声出力を本機背面にあるLINE IN端子に接続すると、本機のスピーカーで迫力ある音声を楽しむことができます。

● **操作方法については、P67 をご覧ください。**

デジタルオーディオプレーヤーなどの音声を接続する

デジタルオーディオプレーヤーなどのヘッドホン（音声）出力を本機上面にあるLINE IN端子に接続すると、本機のスピーカーで迫力ある音声を楽しむことができます。

● **操作方法については、P67 をご覧ください。**

ちょっとこれを！

- デジタルオーディオプレーヤーなどの音量は最小にしないでください。最小にしますと、スピーカーから音が出ません。
  また、逆に音量を最大にしますと、音が歪みますので適度な音量でお聞きください。
- 本機上面にあるLINE IN 1端子に接続した機器の音声を楽しむには、FUNCTIONボタンで「LINE-1」に切り換えてご使用ください。
  また、本機背面にあるLINE IN 2端子に接続した機器の音声を楽しむには、FUNCTIONボタンで「LINE-2」に切り換えてご使用ください。

他の機器と接続する

2チャンネルデジタルステレオやドルビーデジタル、DTS、MPEGで、迫力ある音響効果を楽しむことができます。

● S映像入力端子のある機器やD映像入力端子、コンポーネント映像入力端子のある機器と接続する場合は、P15,16 をご覧ください。

接続時の注意

● 他の機器を接続するときは、接続機器の電源を切り、本機の電源プラグがコンセントに差し込まれていない状態でおこなってください。

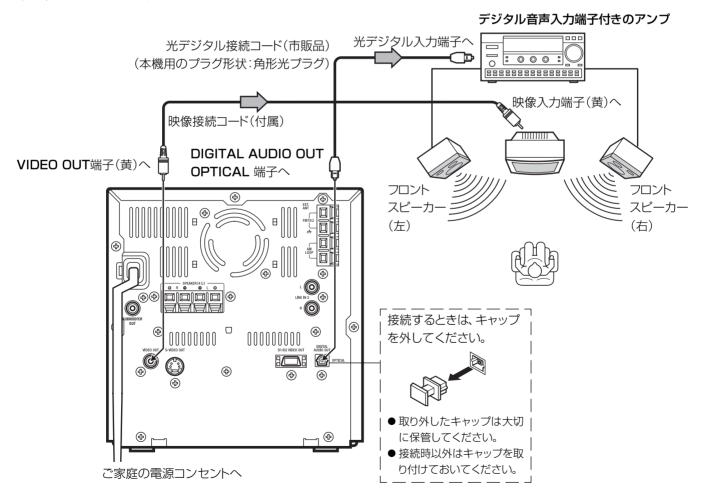
● 本機とテレビは直接接続してください。たとえば、本機からの映像をビデオデッキを通してテレビでご覧になると、コピー防止の働きにより画像が乱れることがあります。

● 本機をビデオ一体型テレビに接続した場合、DVDが正常に再生されない場合があります。

● 接続する機器側の端子名や設定は機器によって異なります。また、外部機器側での設定が必要な場合があります。詳しくは、接続する機器の説明書もよくお読みください。

● 本機の電源コードをコンセントにつないだり、コンセントから抜くときは、テレビや接続している機器の電源を切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷める恐れがあります。

2チャンネルデジタルステレオ対応アンプと接続する

デジタル音声入力端子付きアンプとスピーカーシステム（フロント右、左）につないで、2チャンネルデジタルステレオの迫力ある音響効果を楽しむことができます。

ドルビーデジタルデコーダー／MPEGデコーダー／DTSデコーダー内蔵アンプと接続する

ドルビーデジタル(DOLBY DIGITAL)デコーダー内蔵アンプ

最新の劇場公開映画で使われている代表的なサラウンド音響技術であるドルビーデジタル（5.1チャンネル）の臨場感が、ご家庭でも再現できるようになりました。本機とドルビーデジタル（5.1チャンネル）デコーダーを内蔵した6チャンネルアンプを接続して、DVDビデオの映画やコンサート、ライブなどを、大迫力の臨場感で楽しむことができます。

● 接続が完了したら、初期設定の「Dolby Digital」を「BitStream」に設定してください。P51

注意 ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続してお使いになるときは、「BitStream」に設定しないでください。

MPEGデコーダー内蔵アンプ

MPEGデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続すると、デジタル音声をより忠実に再現し、臨場感のある音声を楽しむことができます。

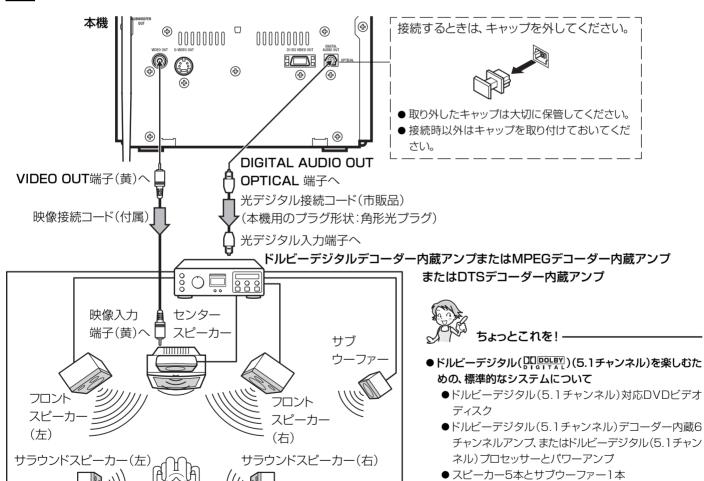
● 接続が完了したら、初期設定の「MPEG」を「BitStream」に設定してください。P52

注意 MPEGデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続してお使いになるときは、「BitStream」に設定しないでください。

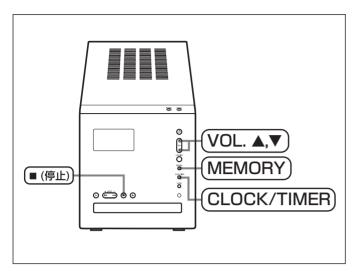
DTS(DIGITAL dts SURROUND)デコーダー内蔵アンプ

DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続すると、劇場にいるような迫力と臨場感のある音声を楽しむことができます。

● 接続が完了したら、初期設定の「DTS」を「On」に設定してください。P53

注意 DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続してお使いになるときは、「On」に設定しないでください。

ちょっとこれを！

● **ドルビーデジタル(DOLBY DIGITAL)（5.1チャンネル）を楽しむための、標準的なシステムについて**
  ● ドルビーデジタル（5.1チャンネル）対応DVDビデオディスク
  ● ドルビーデジタル（5.1チャンネル）デコーダー内蔵6チャンネルアンプ、またはドルビーデジタル（5.1チャンネル）プロセッサーとパワーアンプ
  ● スピーカー5本とサブウーファー1本
● テレビ内蔵のスピーカーの音量は、可能な限り小さくすることをおすすめします。

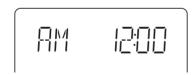
時計を合わせる

ACコンセントに電源コードを差し込むと、時刻を合わせるまでは時計表示が点滅します。
タイマー演奏などのタイマー機能を使うため、最初に時刻を合わせておいてください。

準備　本機の電源を入れておきます。P22

この操作は本体でおこなってください。

（例）「午後6時30分」に合わせる

1 CLOCK/TIMERボタンを押す

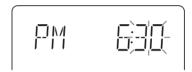
表示窓に時間が表示されます。

2 15秒以内にMEMORYボタンを押す

表示窓の「時」表示が点滅します。

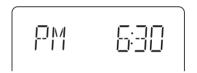
3 VOL. ▲ または ▼ ボタンを押して、時間を「PM　6」に合わせる

4 MEMORYボタンを押す

表示窓の「分」表示が点滅します。

5 VOL. ▲ または ▼ ボタンを押して、分を「30」に合わせる

6 MEMORYボタンを押す

時計が動き出し、もとの表示に戻ります。

- 時報（「117」に電話）に合わせて押すと、時刻を正確に合わせることができます。

時計の12時間表示/24時間表示を切り換える

電源を切った状態で、本体の ■（停止）ボタンを押しながらMEMORYボタンを押す

押すたびに、以下のように切り換わります。

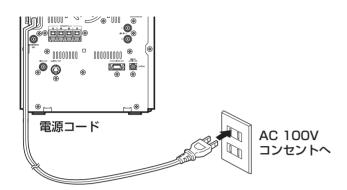
「12時間表示」←→「24時間表示」

- 本書では12時間表示で説明をしています。

ちょっとこれを！

- 時刻を設定した後に時計表示が点滅表示されているときは、停電や電源コードの抜き差しにより、時計が止まっていたことを示します。もう一度時刻を合わせてください。
- 設定した時刻を変更したい場合は、上記手順と同様の操作をおこなってください。
- 他の操作中に時刻を確認するには、CLOCK/TIMERボタンを押してください。約15秒後、もとの表示に戻ります。

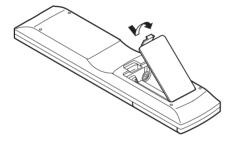
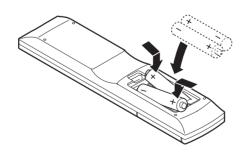
つづく

電源コードの接続

● 電源コードを抜き差しするときは、本体の電源を切ってからおこなってください。先に電源を切らないと、ディスクに傷がついたり故障の原因となります。

スクリーンセーバー（焼付き防止）について

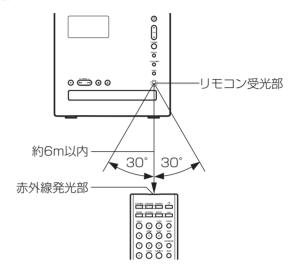
● ディスクを再生していない状態または一時停止状態で、約5分間本体またはリモコンを操作しない場合は、自動的にスクリーンセーバー画面に切り替わります。本体もしくはリモコンの操作ボタンを押すとスクリーンセーバーは解除されます。

リモコン用乾電池の入れかた

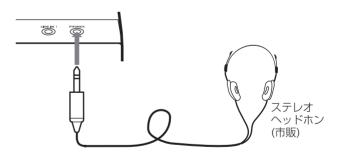
1 電池ぶたのつまみを押し、ふたを開けます。

2 単4形乾電池2本を、極性⊕⊖を正しく入れて、ふたを閉めます。（本機には乾電池は付属されていません。あらかじめご準備ください。）

乾電池の交換について

● 乾電池の寿命は、使い方にもよりますが、約1年をめやすに2本同時に同種類の乾電池と交換してください。
● 不要となった乾電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）にしたがって処理してください。

リモコンの使える範囲

水平（垂直）方向で左右（上下）30度ずつ、直線距離で約6mまでの範囲です。

● リモコン受光部とリモコンとの間に障害物があると、操作できないことがあります。
● リモコンの乾電池が消耗すると、リモコンを操作しても動作しなくなりますので、2本とも新しい乾電池に交換してください。
● 直射日光下やインバーター蛍光灯の近くでは、強い光が当たると正常に動作しないことがあります。

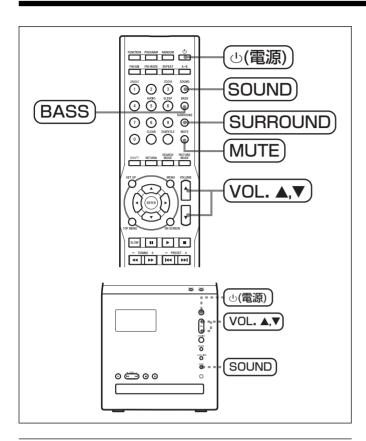
ヘッドホンで聞く

上面のPHONES端子に接続する

● ミニプラグ（φ3.5）付のステレオヘッドホンをご用意ください。
● ヘッドホンを接続するとスピーカーから音が出なくなります。

ご注意

● ヘッドホンでお聞きになるときは、耳を刺激するような大きな音量で長時間お聞きにならないようにしてください。聴力に悪い影響を与えることがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。音量は時間と場所に応じて適度に調節してください。特に夜間の音楽鑑賞には気をくばりましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

電源を入/切する

⏻ (電源)ボタンを押す

電源が入り、表示窓が点灯します。

- 表示窓に 「HELLO」 が表示されます。
- ファンクションは電源を切る前のファンクションになります。

もう一度押すと電源が切れる

- 表示窓に 「GOOD-BYE」 が表示されます。

音量を調節する

VOL . ▲ または ▼ ボタンで調節する

リモコンのVOL . ▲ または ▼ ボタンを押すたびに、表示窓に音量レベル（VOL 0 ～ VOL MAX）が表示されます。

- 本体で操作するときは、VOL . ▲ または ▼ ボタンを押します。
- 電源を切ったときは、切る前の音量が保持されます。
- 電源コードを接続し、最初に電源を入れたとき、音量は自動的に「VOL 15」にセットされます。

一時的に音を消すには

MUTEボタンを押す

表示窓に「MUTE」が点滅表示されます。

もう一度押すともとの音量に戻る

お好みの音質で聞く

再生する内容に合わせて、お好みの音質で聞くことができます。

SOUNDボタンを押して希望の設定を選ぶ

表示窓に現在の設定が表示されます。
押すたびに、以下のように切り換わります。

→「POP」→「ROCK」→「CLASSIC」→「JAZZ」→「FLAT」

モード	音質設定
POP	低音域と高音域をやや強調
ROCK	低音域と高音域をより強調
CLASSIC	基本的にフラットな特性で、音量を小さくしたときに、聞きやすいように低音域を強調
JAZZ	中音域を強調
FLAT	低音域から高音域までフラットな特性で聞きたいとき

ちょっとこれを！

- 電源を切ったときは、切る前の音質が保持されます。
- 本体で操作するには、SOUNDボタンを繰り返し押して「SOUND」を表示させて、VOL. ▲ または ▼ ボタンを押します。

低音を調整する

BASSボタンを押して希望の設定を選ぶ

表示窓に現在の設定が表示されます。
押すたびに、以下のように切り換わります。

→「BASS BST」→「BASS LOW」→「BASS NOR」

ちょっとこれを！

- 電源を切ったときは、切る前の設定が保持されます。
- 本体で操作するには、SOUNDボタンを押して「BASS」を表示させて、VOL. ▲ または ▼ ボタンを押します。

サラウンドモードを設定する

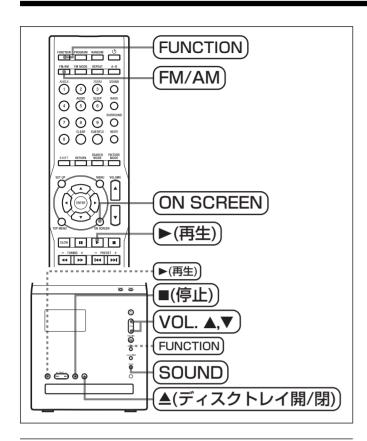
再生するディスクや状況に合わせて設定を選ぶだけで、自然な臨場感あふれるサラウンド音声を楽しむことができます。

SURROUNDボタンを押して希望の設定を選ぶ

表示窓に現在の設定が表示されます。
押すたびに、以下のように切り換わります。

「SURR ON」←→「SURR OFF」

ちょっとこれを！

- 電源を切ったときは、切る前の設定が保持されます。
- 本体で操作するには、SOUNDボタンを繰り返し押して「SURROUND」を表示させて、VOL. ▲ または ▼ ボタンを押します。

ナイトモードを設定する

この操作は本体でおこなってください。

1 SOUNDボタンを繰り返し押して「NIGHT」を表示させる

2 「NIGHT」表示中に、VOL. ▲ または ▼ ボタンを押す

表示窓に現在の設定が表示されます。
押すたびに、以下のように切り換わります。

「NIGHTOFF」←→「NIGHT ON」

ちょっとこれを！

- NIGHTモードは、特にDVDのときに効果があります。夜間など音量を小さく設定しているときにNIGHTモードを「ON」に設定すると、小さな音量の音声でも聞き取りやすくなり、同時に表示窓の明るさが暗くなります。また、急な音の変化を望まないときなどに、この機能を「ON」に設定すると、極端な音の変化を押さえて聞くことができます。
- NIGHTモードを「ON」に設定したときは、ディマーモード（明るさ）を選んでも表示窓の明るさは変わりません。P23
- 電源を切ったときは、NIGHTモードの設定は解除されます。

ワンタッチで再生を始める

電源が切れている状態でも、ボタンを一つ押すだけで自動的に電源が入り、再生や放送が始まります。

ディスク再生（ディスクが入っているとき）

►（再生）ボタンを押すと、再生が始まります。

ラジオ放送の受信

FM/AMボタンを押すと、放送を聞くことができます。

- ラジオのバンドや周波数などは、電源を切る前のモードでスタートします。

ディスクの取り出しもワンタッチで

本体の ▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを押すと、ディスクトレイが開きます。

ファンクション（音源）を切り換える

FUNCTIONボタンを押して希望のファンクションを選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

→「DVD/CD」→「LINE-1」→「LINE-2」→「FM TUNER」→「AM TUNER」→（「DVD/CD」に戻る）

ちょっとこれを！

- ►（再生）ボタンやFM/AMボタンを押したときは、自動的にファンクションが切り換わります。
- ファンクションが切り換わると、ディスクの再生は自動的に停止します。

表示窓の明るさを変える

表示窓の照明の明るさが気になるときは、通常よりも暗くすることができます。

リモコンのON SCREENボタンを押しながら本体の ■（停止）ボタンを押して、ディマーモード（明るさ）を選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

「NORMAL」←→「DARK」

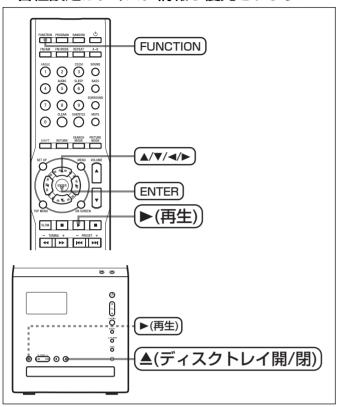
NORMAL：　通常の明るさです
DARK：　　表示窓の照明が暗くなります

ちょっとこれを！

- 電源を切ったときは、切る前の設定が保持されます。

ディスクを再生する

DVD CD

本取扱説明書は本機の基本的な操作のしかたを説明しています。
<各種設定はディスク情報が優先されます>

準備

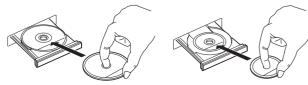
- DVDを楽しむときは、本機とテレビの電源を入れて、テレビの入力を本機が接続されているビデオ入力に切り換えます。
- FUNCTIONボタンを押して、ファンクションを「DVD/CD」に切り換えます。
- 接続しているテレビに合わせて、映像信号の出力方式(インターレースまたはプログレッシブ)や画面設定を変更してください。 P15, 49, 50

1 本体の ▲(ディスクトレイ開/閉)ボタンを押す

ディスクトレイが開きます。また、表示窓に「OPEN」が表示され、テレビ画面に「 ▲ 」が表示されます。

- 電源が切れているときでも、本体の ▲ (ディスクトレイ開/閉)ボタンを押すと自動的に電源が入り、ディスクトレイが開きます。

2 ディスクをディスクトレイに置く

再生面を下にして溝にそって正しく置きます。

12cmディスクの場合　　8cmディスクの場合

3 ▶ (再生)ボタンを押す

表示窓に「CLOSE」、テレビ画面に「 ▲ 」が表示されディスクトレイが自動的に閉まります。

DVD: テレビ画面に「Reading」、「DVD」と表示され、再生が始まります。表示窓には「READING」、「 ▶ 」、「DVD」と表示されます。

CD: テレビ画面に「Reading」、「CD」と表示され、再生が始まります。表示窓には「READING」、「 ▶ 」、「CD」と表示されます。

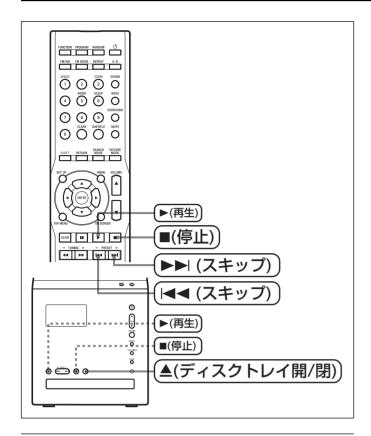
- 電源が切れているときでも、▶ (再生)ボタンを押すと自動的に電源が入り、ディスクが入っていれば再生が始まります。
- ディスクの再生面を逆にして入れたり、傷ついたディスクを再生しようとすると、テレビ画面に「No Play」、表示窓に「NO PLAY] と表示されます。
  この場合は、ディスクを正しく置きなおすか、新しいディスクに交換してください。

(表示窓の表示例)

ディスクのメニューが表示されたとき

DVDによってはメニューが表示される場合があります。そのときは、▲/▼/◀/▶ ボタンとENTERボタンで項目を選びます。詳しくは、 P26 をご覧ください。

ご注意

- 再生中に本機を動かさないでください。ディスクを傷つけてしまうことがあります。
- ディスクトレイの出し入れは、本体のボタン操作でおこなってください。また動いているディスクトレイに力を加えないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイを上から強く押したり、ディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- 再生するディスクによってディスクの大きさが違いますので、それぞれ溝にそって正確に置いてください。溝からはずれていると、ディスクを傷つけたり、故障の原因となります。
- ディスクトレイの前に物を置かないでください。ディスクトレイが開くときに、物が倒れて破損やけがの原因となります。また、ディスクトレイの故障の原因となります。
- DVDはリーディング(読み込み)に時間がかかります。
- DVDによってはオートプレイをしないディスクがあります。
- スクリーンセーバー機能が働いているときに ▶(再生)ボタンを押したときは、スクリーンセーバーが解除されて再生が始まります。

ディスクを再生する（つづき）

再生を途中で止める

■（停止）ボタンを押す

停止した位置から再生するとき（リジューム機能）

再生中に ■（停止）ボタンを1回押すと、「Resume ■」と表示されます。
►（再生）ボタンを押すと、停止したところから再生が始まります。

完全に停止させるとき（リジューム機能の解除）

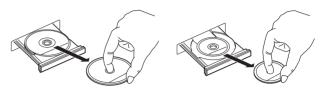
本体の ▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを押してディスクを取り出すか、上記の状態からもう一度 ■（停止）ボタンを押します。（完全停止状態）
完全に停止状態になり、次に再生するときはディスクの最初から始まります。

ちょっとこれを！

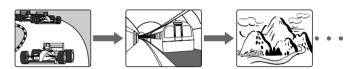
- 「Resume ■」と表示されないときは、リジューム再生できません。
- ディスクによってはリジューム再生できない場合があります。
- リジューム再生は、停止した場所によっては、停止位置からずれて始まる場合があります。
- 本機の電源を切ったときやディスクトレイを開閉したとき、あるいはファンクションを切り換えたときは、リジューム再生の記録が消えます。

ディスクを取り出す

本体の ▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを押す

ディスクトレイが完全に開いてから、ディスクを取り出します。

12cmディスクの場合　　8cmディスクの場合

もう一度、本体の ▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを閉めます。

再生したい項目にスキップする

次のチャプター/トラックへ進む

再生中に、►►I（スキップ）ボタンを押す

テレビ画面に「 ►►I 」が表示され、次のチャプターまたはトラックの頭から再生します。

前のチャプター/トラックへ戻る

再生中に、I◄◄（スキップ）ボタンを押す

テレビ画面に「 I◄◄ 」が表示され、再生中のチャプターまたはトラックの頭から再生されます。続けてもう一度押すと、1つ前のチャプターまたはトラックの頭から再生します。

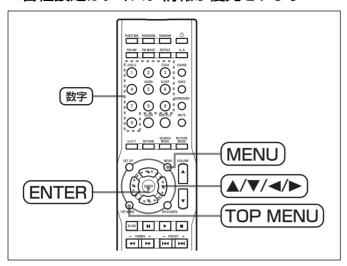
ちょっとこれを！

- ディスクによってはスキップが禁止されている場合があります。
- チャプターとトラックについては10ページを参照してください。

操作中に「 ⃠ 」が画面に表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

メニューを使う

DVD

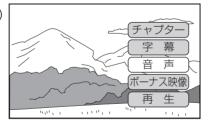
<各種設定はディスク情報が優先されます>

DVDには、ディスク内にメニューが記録されているものがあります。このようなディスクを再生するときは希望の項目をメニューで選ぶことができます。

準備　本機の電源を入れた後、ディスクを入れて、再生できるようにしておきます。P24

DVDメニューで選ぶ

1 再生中に、MENUボタンを押す

DVDメニューが表示されます。記録されている映像を選んだり、字幕や音声の言語を選べます。

（表示例）

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して希望の項目を選ぶ

ディスクによっては、**数字**ボタンで選べるものもあります。

3 ENTERボタンを押す

選んだ項目が実行されたり、次のメニューに移ったりします。操作2～3を繰り返して希望のメニューを操作します。

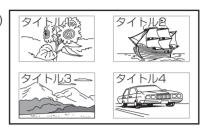
ちょっとこれを！

- 複数の言語でDVDメニューが記録されている場合は、初期設定の「言語設定を変更する」で音声・字幕・DVDメニューの言語を選ぶことができます。P44

トップメニューで選ぶ

1 TOP MENUボタンを押す

トップメニューが表示されます。

（表示例）

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して希望のタイトルを選ぶ

ディスクによっては、**数字**ボタンで選べるものもあります。

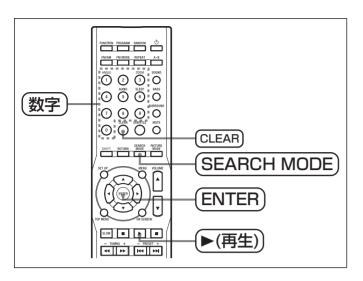
3 ENTERボタンを押す

選んだタイトルの再生が始まります。

ちょっとこれを！

- メニューが記録されていないディスクもあります。
- メニューを操作してから実際に動作するまで、数秒かかる場合があります。
- ディスクによっては「DVDメニュー」や「トップメニュー」のことを別の呼びかたで表示しているものもあります。また「**ENTER**ボタンを押す」といった案内の表示を「**選択**ボタンを押す」などと表示しているものがあります。
- ディスクによっては「DVDメニュー」や「トップメニュー」を選ぶことが禁止されている場合があります。
- ディスクによっては「DVDメニュー」や「トップメニュー」が同じ内容で表示されることがあります。表示される内容はディスク情報に依存します。
- ディスクによってはリーディング後、メニューを表示する場合と本編を再生する場合があります。
- ディスクによってはメインメニューからサブメニュー（音声・字幕設定、特典メニューなど）を選択する構成になっているものがあります。画面表示にしたがって操作してください。
- DVDメニュー表示中に**MENU**ボタンを押すと本編の再生に戻ります。（ただし、ディスクによって異なる場合があります。）

操作中に「⃠」が画面に表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

見たい、聞きたいところを探す

準備　本機の電源を入れた後、ディスクを入れて、再生できるようにしておきます。 P24

タイトルサーチ

再生したいタイトル番号を入力すると、そこから再生することができます。

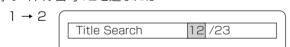
1 SEARCH MODEボタンを1度押す

テレビ画面にタイトルサーチの入力画面が表示されます。

例：

2 数字ボタンで、希望のタイトル番号を入力する

例：タイトル番号12を選ぶには

1 → 2

3 ENTERまたは ►（再生）ボタンを押す

選んだタイトルから再生が始まります。

チャプターサーチ

再生したいチャプター番号を入力すると、そこから再生することができます。

1 再生中に、SEARCH MODEボタンを2度押す

テレビ画面にチャプターサーチの入力画面が表示されます。

例：

2 数字ボタンで、希望のチャプター番号を入力する

例：チャプター番号10を選ぶには

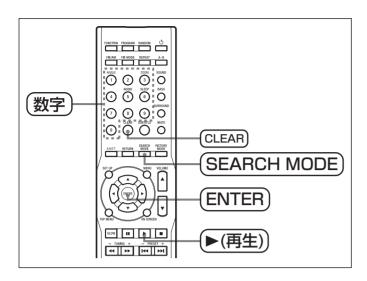
1 → 0

3 ENTERまたは ►（再生）ボタンを押す

選んだチャプターから再生が始まります。

ちょっとこれを！

- 設定途中で訂正するときはCLEARボタンを押すと、入力番号表示が消えます。
- 設定途中で中止するときは、SEARCH MODEボタンを1～3度押して、表示を消します。また、CLEARボタンを1～2度押して表示を消すこともできます。
- ENTERまたは ►（再生）ボタンを押したときに誤った番号が入力されていると、入力画面に戻ります。正しい番号を再入力してください。
- ディスクによってはサーチを禁止しているものもあります。
- ディスクによってはSEARCH MODEボタンを押す回数が異なるものがあります。この場合は、画面の表示でサーチモードを確認してください。
- タイトルとチャプターについては10ページを参照してください。

見たい、聞きたいところを探す （つづき）

準備　本機の電源を入れた後、ディスクを入れて、再生できるようにしておきます。P24

タイムサーチ

時間(時/分/秒)を入力すると、そこから再生することができます。

1 DVDを再生中にSEARCH MODEボタンを3度押す、またはCDを再生中にSEARCH MODEボタンを1度押す

テレビ画面にタイムサーチの入力画面が表示されます。

例:

Time Search	- - : - - : - -	

2 数字ボタンで、再生したい時間を入力する

例:1時間4分8秒から始める場合

1→0→4→0→8

例:35分46秒から始める場合

3→5→4→6

Time Search	- - :35:46	

3 ENTERまたは ▶ (再生)ボタンを押す

DVD: 指定した時間から再生を始めます。

CD: 曲のトラック再生時間内でタイムサーチ時間を入力すれば、指定した時間から再生を始めます。

トラックサーチ CD

再生したいトラック番号を入力すると、そこから再生することができます。

1 数字ボタンで、希望のトラック番号を入力する

例:トラック番号15を選ぶには

1 → 5

2 約5秒以内に、ENTERまたは ▶ (再生)ボタンを押す

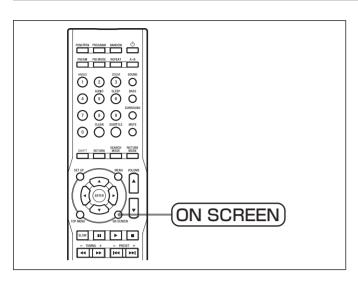
選んだトラックから再生が始まります。

ちょっとこれを!

- 設定途中で訂正するときはCLEARボタンを押してから、もう一度**数字**ボタンを押します。
- 設定途中で中止するときは、SEARCH MODEボタンを1～3度押して、表示を消します。また、CLEARボタンを1～2度押して表示を消すこともできます。
- ENTERまたは ▶ (再生)ボタンを押したときに誤った番号が入力されていると、タイムサーチ中のときは入力画面に戻り、トラックサーチ中(CD)のときは「⃠」が表示されます。正しい番号を再入力してください。
- ディスクによってはサーチを禁止しているものもあります。
- ディスクによってはSEARCH MODEボタンを押す回数が異なるものがあります。この場合は、画面の表示でサーチモードを確認してください。

操作中に「⃠」が画面に表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

ディスクの情報を見る

DVD CD

テレビ画面に、経過時間や残り時間、音声、字幕やアングルなどの設定を表示できます。

1 再生中に、ON SCREENボタンを押す

テレビ画面

例：DVD

表示窓には通常チャプター番号とタイトルの経過時間が表示されます。

例：CD

表示窓には通常再生中のトラック番号とトラックの経過時間が表示されます。

2 再生中に、もう一度ON SCREENボタンを押す

テレビ画面

例：DVD

例：CD

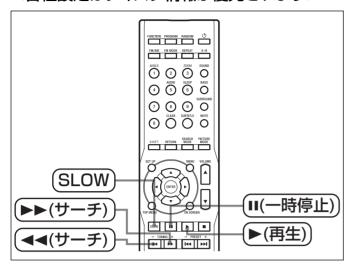
画面表示を消すときは、もう一度ON SCREENボタンを押す

ちょっとこれを！

- 早送り、早戻し再生中やスロー、スロー戻し再生中、静止（一時停止）中、リジューム停止中にディスク情報を表示させることもできます。
- CDは完全停止中表示窓に、全トラック数とトータル時間をディスク情報として表示します。リジューム停止中は、停止したトラック番号と停止時間を表示します。
  また、完全停止中に**ON SCREEN**ボタンを押したときはテレビ画面にトータル時間が表示されます。もう一度**ON SCREEN**ボタンを押すと、全トラック数とトータル時間が表示されます。リジューム停止中は、トラック停止時間を表示します。もう一度**ON SCREEN**ボタンを押すと、全トラック数とトラック停止時間を表示します。

速さを変えて再生する

DVD CD

<各種設定はディスク情報が優先されます>

静止(一時停止)する

再生中に、❚❚(一時停止)ボタンを押す

テレビ画面と表示窓に「❚❚」が表示されます。

DVD:静止
CD:一時停止

通常の再生に戻すときは、▶(再生)ボタンを押す

コマ送りする

DVD

静止中に、❚❚(一時停止)ボタンを押す

押すたびにテレビ画面に「❚❚▶」が表示され、1コマずつコマ送りします。

通常の再生に戻すときは、▶(再生)ボタンを押す

早送り、早戻しする

再生または一時停止中に、▶▶(サーチ)または◀◀(サーチ)ボタンを押す

押すたびに、早さが切り換わります。
テレビ画面には以下のように表示されます。

早送り:▶▶(サーチ)ボタン

DVD
▶▶ 1 → ▶▶ 2 → ▶▶ 3 → ▶▶ 4 → ▶▶ 1 ･･･
CD
▶▶ 1 → ▶▶ 2 → ▶▶ 1 ･･･

早戻し:◀◀(サーチ)ボタン

DVD
◀◀ 1 → ◀◀ 2 → ◀◀ 3 → ◀◀ 4 → ◀◀ 1 ･･･
CD
◀◀ 1 → ◀◀ 2 → ◀◀ 1 ･･･

通常の再生に戻すときは、▶(再生)ボタンを押す

スローモーションで見る

DVD

再生または一時停止中に、SLOWボタンを押す

押すたびに、早さが切り換わります。
テレビ画面には以下のように表示されます。

スロー再生/スロー戻し再生:SLOWボタン

❙▶ 1 → ❙▶ 2 → ❙▶ 3 → ❙▶ 4 → ◀❙ 1 → ◀❙ 2 → ◀❙ 3 → ◀❙ 4 → ❙▶ 1 ･･･

通常の再生に戻すときは、▶(再生)ボタンを押す

ちょっとこれを!

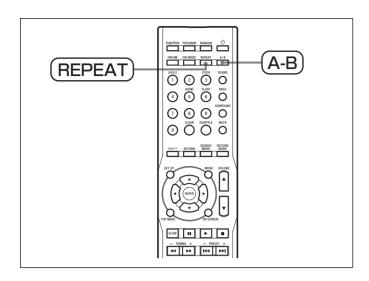
- 静止(一時停止)やコマ送り･スロー再生･スロー戻し再生中は、音声がでません。
- DVDでは、早送り、早戻し中は音声が出ません。
- ディスクによっては、早送り、早戻しを自動で解除して再生に切り換わるものがあります。
- ディスクによっては、静止(一時停止)やコマ送り･早送り･早戻し･スロー再生･スロー戻し再生を禁止しているものもあります。
- DVD再生時の早送り、早戻し速度は、概算で以下のようになります。

早送り時	▶▶1:約2倍
	▶▶2:約4倍
	▶▶3:約8倍
	▶▶4:約20倍
早戻し時	◀◀1:約2倍
	◀◀2:約4倍
	◀◀3:約8倍
	◀◀4 :約20倍

CDやMP3では速度が異なります。また、記録されている状態によりバラツキもあります。あくまでも参考としてお使いください。

操作中に「⃠」が画面に表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

繰り返し再生する

DVD CD

繰り返し再生する

ディスク全体または、タイトル・チャプター/トラックを繰り返し再生できます。

再生中にREPEATボタンを押して、リピートモードを選ぶ

押すたびに、テレビ画面の表示が以下のように切り換わります。

例：DVD

→ Chapter（チャプターリピート）→ Title（タイトルリピート）→ Off（オフ）→

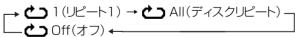
例：

現在選択しているリピートモード

テレビ画面	表示窓	動作
Chapter	REP. 1	再生中のチャプターを繰り返す
Title	ALL REP.	再生中のタイトルを繰り返す
Off		リピート再生取り消し

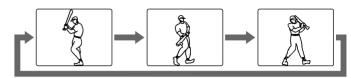
例：CD

→ 1（リピート1）→ All（ディスクリピート）→ Off（オフ）→

例：

現在選択しているリピートモード

テレビ画面	表示窓	動作
1	REP. 1	再生中のトラックを繰り返す
All	ALL REP.	ディスク全体を繰り返す
Off		リピート再生取り消し

通常の再生に戻すには、リピートボタンを押して「Off」を選ぶ

再生したい部分だけを繰り返し再生する

1 再生中に繰り返し再生したい部分の始点（A）で、A-Bボタンを押す

テレビ画面に以下のように表示します。

2 繰り返し再生したい部分の終点（B）で、A-Bボタンを押す

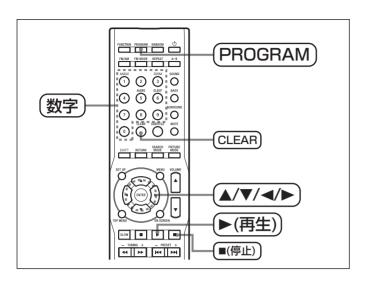
自動的にA点に戻り、指定した部分（A-B間）の繰り返し再生が始まります。

通常の再生に戻すには、A-Bボタンを押して「Off」を選ぶ

ちょっとこれを！

- 停止中にリピートモードを選ぶこともできます。
- 本機の電源を切/入したり、完全停止状態にする、またはディスクトレイを開閉したときやファンクションを切り換えると、リピート再生やA-Bリピート再生は取り消されます。
- リジューム停止中はリピート再生の設定は残ります。また、CDのリジューム停止中はA-Bリピート再生の設定も残ります。
- DVDによってはリピート再生やA-Bリピート再生ができない場合があります。また、Chapter（チャプターリピート）またはTitle（タイトルリピート）を選ぶことができない場合があります。
- A-Bリピートは1か所のみ設定できます。
- CDのA-Bリピートは再生中またはトラック内のみ繰り返し再生することができます。
- CDをプログラム再生中 P33 にREPEATボタンを押して、プログラム再生中の1曲または全曲を繰り返し再生することができます。
- CDをランダム再生中 P34 にREPEATボタンを押して、ランダム再生中の1曲または全曲を繰り返し再生することができます。
- 繰り返し再生を設定すると表示窓にリピート再生表示「REP. 1」や「ALL REP.」、「REP.A→B」が表示されます。
- リピート再生中またはA-Bリピート再生中にCLEARボタンを押すとテレビ画面に「Off」または「Off」が表示されてリピート再生またはA-Bリピート再生が取り消され、通常再生に戻ります。

プログラム再生する

CD

トラックを選んで好きな順に再生できます。最大20個まで設定できます。

準備　再生しているときは、■（停止）ボタンを2度押して完全に停止させてから操作してください。（完全停止状態）

1 停止状態で、PROGRAMボタンを押す

テレビ画面にプログラム画面が表示されます。
表示窓に「PROG.」が点滅表示されます。

Program Mode

All Clear

1 --	6 --	11 --	16 --
2 --	7 --	12 --	17 --
3 --	8 --	13 --	18 --
4 --	9 --	14 --	19 --
5 --	10 --	15 --	20 --

▲▼◀▶／ENTER／0-9／CLEAR／PROGRAM

2 数字ボタンで、希望のトラック番号を入力する

(例)トラック番号21を選ぶには

2 → 1

(例)トラック番号3を選ぶには

3

Program Mode

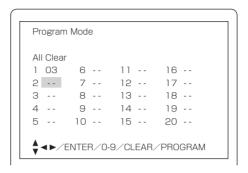
All Clear

1 3 -	6 --	11 --	16 --
2 --	7 --	12 --	17 --
3 --	8 --	13 --	18 --
4 --	9 --	14 --	19 --
5 --	10 --	15 --	20 --

▲▼◀▶／ENTER／0-9／CLEAR／PROGRAM

● 入力の途中で訂正するときは、CLEARボタンを押して表示を消した後、もう一度入力し直します。

3 ▼ ボタンを押す

次のプログラムNo.が選択されます。

4 操作2〜3を繰り返して、再生したい順にプログラムする

プログラム設定を途中で中止するには、PROGRAMボタンを押す

5 プログラム画面の表示中に、▶（再生）ボタンを押す

表示窓の「PROG.」が点灯表示され、プログラム順に再生が始まります。

プログラム再生を中止するには、■（停止）ボタンを2度押す

リジューム停止中に ▶（再生）ボタンを押すと、続きから再生することができます。

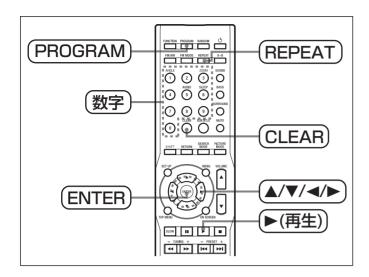
ちょっとこれを！

● 設定したプログラムがすべて再生されると停止します。途中で ■（停止）ボタンを押して停止することもできます。

● 設定したプログラムは、ディスクトレイを開閉しない限り記録していますので、中断したあともプログラム再生ができます。プログラムを消去するには、次のページをご覧ください。

● プログラム再生中にCLEARボタンを押すとプログラム再生が取り消され、通常再生に戻ります。プログラムした内容は消えません。

操作中に「 ⃠ 」が画面に表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

プログラム再生する （つづき）

通常再生とプログラム再生を使い分ける

プログラムした内容を記録させたまま、通常再生とプログラム再生を使い分けることができます。

通常の再生

完全停止状態で、▶（再生）ボタンを押す

プログラム再生

完全停止状態からPROGRAMボタンを押してプログラム画面を表示させた後、▶（再生）ボタンを押す

プログラムを変更する

1. 完全停止状態で、PROGRAMボタンを押す
   プログラム画面が表示されます。
2. ▲/▼/◀/▶ ボタンで変更したいプログラムNo.を選ぶ
3. 数字ボタンで希望のトラック番号を入力する
   (例)トラック番号3を選ぶには: 0 → 3
4. ▼ ボタンを押す

プログラムを消去する

設定したプログラムをすべて消すには

1. 完全停止状態で、PROGRAMボタンを押す
   プログラム画面が表示されます。
2. ▲ ボタンを押して「All Clear」を選ぶ
3. ENTERボタンを押す
   すべてのプログラムが消去されます。
4. PROGRAMボタンを押す
   プログラム画面が消えます。

プログラムを個別に消すには

1. 完全停止状態で、PROGRAMボタンを押す
   プログラム画面が表示されます。
2. ▲/▼/◀/▶ ボタンで消去したいプログラムNo.を選ぶ
3. CLEARボタンを押す
   プログラムが1個消去され、次のプログラムが繰り上がります。
4. 操作2～3を繰り返す
5. PROGRAMボタンを押す
   プログラム画面が消えます。

プログラムをリピート再生する

プログラム再生中にREPEATボタンを押して、リピートモードを選ぶ

押すたびに、テレビ画面の表示が以下のように切り換わります。

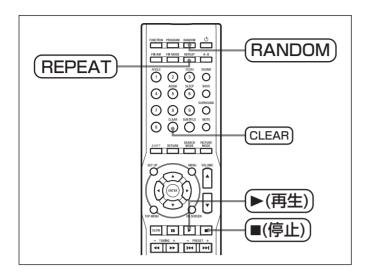
例：

テレビ画面	表示窓	動作
Program 1	REP.1	再生中の1曲を繰り返す
Program All	ALL REP.	プログラム順に全曲繰り返す
Off		リピート再生取り消し

ちょっとこれを！

- ディスクトレイを開閉するとプログラムは取り消されます。
- プログラムリピート再生中にCLEARボタンを押すとテレビ画面に「Off」が表示されてプログラムリピート再生が取り消され、通常再生に戻ります。
- リジューム停止中はプログラムリピート再生の設定は残ります。

ランダム再生する

CD

準備　再生しているときは、■（停止）ボタンを2度押して完全に停止させてから操作してください。（完全停止状態）

ランダム再生する

自動的に曲順が選択されて、ランダムに再生することができます。

1 完全停止状態で、RANDOMボタンを押す

テレビ画面に「Random On」と表示され、表示窓に「RND」が点滅表示します。

2 ▶（再生）ボタンを押す

表示窓の「RND」が点滅から点灯表示に変わり、ランダムに再生が始まります。

ランダム再生を中止するには、■（停止）ボタンを2度押す

リジューム停止中に ▶（再生）ボタンを押すと、続きから再生することができます。

ちょっとこれを！

- ランダムにすべての曲が再生されると停止します。途中で ■（停止）ボタンを押して停止することもできます。
- ランダム再生中にCLEARボタンを押すとランダム再生が取り消され、通常再生に戻ります。
- 本機の電源を切/入したり、完全停止状態にする、またはディスクトレイを開閉すると、ランダム再生は取り消されます。

ランダムにリピート再生する

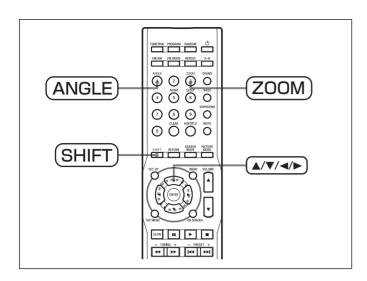
ランダム再生中にREPEATボタンを押して、リピートモードを選ぶ

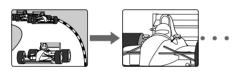
押すたびに、テレビ画面の表示が以下のように切り換わります。

テレビ画面	表示窓	動作
1	REP.1	再生中の1曲を繰り返す
All	ALL REP.	すべての曲をランダムに繰り返す
Off		リピート再生取り消し

ちょっとこれを！

- ディスクトレイを開閉するとランダムリピート再生は取り消されます。
- ランダムリピート再生中にCLEARボタンを押すとテレビ画面に「 Off」が表示され、ランダムリピート再生が取り消され、通常再生に戻ります。
- リジューム停止中はランダムリピート再生の設定は残ります。

映像を拡大(ズーム)／アングルを切り換える DVD

ズーム(拡大比率を切り換える)

映像を拡大表示することができます。

再生または静止中に、SHIFTボタンを押しながらZOOMボタンを押す

押すたびに、テレビ画面の表示が以下のように切り換わります。

🔍1 → 🔍2 → 🔍3 → 🔍4 → 🔍Off → 🔍1 ・・・

テレビ画面の中央を中心に映像が拡大されます。

現在選択している拡大比率

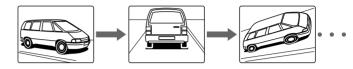
- 数字が大きくなるほど、拡大されていきます。
- 拡大表示中に▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、拡大部分を移動することができます。画面の端までくると、移動が止まります。

元の映像に戻すには、SHIFTボタンを押しながらZOOMボタンを押して「🔍Off」を選ぶ

もとの大きさに戻ります。

アングルを切り換える

＜各種設定はディスク情報が優先されます＞

複数のアングルで記録された(マルチアングル)DVDでは、好きなアングルに切り換えることができます。

再生中に、SHIFTボタンを押しながらANGLEボタンを押す

押すたびに、アングルが切り換わり、テレビ画面に現在のアングル番号が表示されます。

例：

現在選択しているアングル番号

ちょっとこれを！

- スローモーションや早送り、早戻しのときも、ズーム機能が使用できます。
- ディスクに記録されている画面によってはズーム機能が働かないものもあります。
- ズームボタンの表示倍率は、概算で以下のようになります。
  - 🔍1：約1.3倍
  - 🔍2：約1.5倍
  - 🔍3：約1.75倍
  - 🔍4：約2倍

  映像の倍率は参考倍率としてお使いください。
- マルチアングルで記録された映像を再生しているときだけ、アングルを切り換えることができます。
- ディスクによってはアングルの切り換えを禁止しているものもあります。

操作中に「⦸」が画面に表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

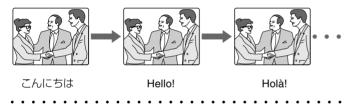
音声・字幕を切り換える

DVD

＜各種設定はディスク情報が優先されます＞

DVDの音声を切り換える

DVDには複数の音声が記録されているものがあり、希望の音声を選んで再生することができます。

こんにちは　Hello!　Holà!

再生中に、SHIFTボタンを押しながらAUDIOボタンを押す

押すたびに、ディスクで選べる音声が切り換わり、テレビ画面に現在の音声の内容が表示されます。

例：

現在選択している音声

ちょっとこれを！

- DTSはアナログ音声（本機のスピーカー）から出力されません。
- 複数の音声が記録されていないディスクでは、音声を切り換えることはできません。
- ディスクによっては複数の音声が記録されていても、切り換えを禁止しているものもあります。
- 電源を切ったり、ディスクを交換すると、元の音声に戻りますのでお好みの音声を選択してください。
- 記録されている音声の種類や数はディスクによって異なります。また、選択できる音声はディスク情報によって決まります。

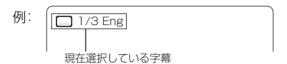
字幕を切り換える

DVDには字幕が記録されているものがあり、再生中に画面に表示できます。複数の字幕が記録されている場合は、希望の字幕を選ぶことができます。また、字幕表示を入/切することもできます。

1 再生または静止中に、SUBTITLEボタンを押す

テレビ画面に現在の字幕の内容が表示されます。

例：

現在選択している字幕

2 SUBTITLEボタンを押して、希望の言語を選ぶ

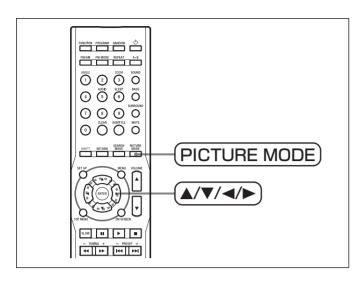
押すたびに、ディスクで選べる字幕が切り換わります。
字幕を表示しないときは「Off」を選びます。

例：

現在選択している字幕

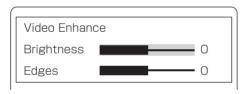
ちょっとこれを！

- ディスクによっては、字幕が記録されていても、字幕表示を禁止している場合があります。
- 字幕が記録されていないディスクでは、字幕を表示することはできません。
- ディスクによっては、複数の字幕が記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- ディスクによっては、字幕を消すことを禁止している場合があります。
- ディスクによっては、DVDメニューから字幕を設定できるものもあります。P26
- 記録されている字幕の種類や数はディスクによって異なります。また、選択できる字幕はディスク情報によって決まります。
- 本機の電源を切/入したりディスクトレイを開閉すると、設定した字幕が取り消されて、元の状態に戻ります。

画質を調節する

ディスクや接続したテレビに合わせて画質を調節することができます。

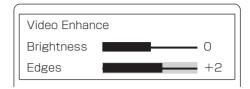
準備　本機とテレビの電源を入れて、テレビの入力を本機が接続されているビデオ入力に切り換えます。

1 PICTURE MODEボタンを押す

テレビ画面に画質調節画面が表示されます。

2 ▲/▼ ボタンを押して「Brightness」または「Edges」を選ぶ

Brightness：画面の明るさを調節します。
Edges：画面のシャープネスを調整します。

操作中に「⃠」が画面に表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

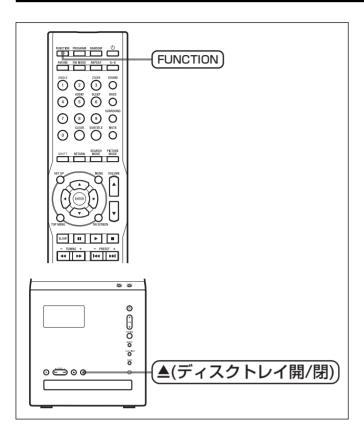
3 ◀/▶ ボタンを押して画質を調節する

- BrightnessとEdgesそれぞれ、－8～+8の範囲で調節できます。

画質調節画面を消すときは、PICTURE MODEボタンを押す

ちょっとこれを！

- 本機の電源を切ったときやファンクションを切り換えたときは、BrightnessとEdgesそれぞれの設定が"0"に戻ります。

MP3/WMAファイルを再生する

DATA

データCD(CD-R、CD-RWなど)に記録されているMP3形式またはWMA形式(Windows Media Audio)の音楽ファイルを再生することができます。

MP3/WMAファイルの再生について

- ISO9660(レベル1、レベル2)フォーマットに準拠したディスクを再生できます。
- オーディオCDトラックとMP3/WMAファイルが混在したCDはオーディオCDトラックのみ再生します。
- ファイル構成にもよりますが、MP3/WMAファイルを読み取るのに30秒以上かかることがあります。
- 高品質の音質を得るには44.1kHzのサンプリング周波数、128kbps以上のビットレートでの記録をお勧めします。
- ファイル名、フォルダー名は半角英数字で入力されている場合のみ表示されます。それ以外の文字は"-"(ハイフン)で表示されます。
- ファイル数999またはフォルダー数150まで認識できます。ただし、フォルダ構造によって全てのファイルが認識できない場合があります。
- MP3/WMA CDは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状態により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。
- MP3のIDタグVer.1に対応していますが、32文字までの表示となります。表示可能文字は、半角英数字の限定となり、エンコードソフトにより正常に表示しない場合があります。
- MP3/WMA作成のエンコードソフトによって、曲の前後や曲にノイズが入ることや再生できないことがあります。なお、エンコードソフトやエンコード操作などのパソコン操作に関しては、対応いたしかねます。
- パケットライトソフト、Joliet形式、Romeo形式、HFS形式には対応していません。

<MP3>
- MP3形式のファイルで拡張子「.mp3」または「.MP3」が付加されているファイルを再生できます。
- MP3形式ファイルのサンプリング周波数とビットレート
  - 32kHz、44.1kHz、48kHz、32kbps～320kbps(固定または可変のビットレート)
- MPEGオーディオレイヤー3のみ対応しています。

<WMA>
- WMA形式のファイルで拡張子「.wma」または「.WMA」が付加されているファイルを再生できます。
- WMA形式ファイルのサンプリング周波数とビットレート
  対応するWMAバージョンは7、8と9です。ただし、WMA9 Professional、WMA9 Lossless形式のファイルまたは、DRM(著作権管理)がかかったWMA形式のファイルは再生できません。
  - 32kHz、48kbps～64kbps
  - 44.1kHz、48kbps～192kbps
  - 48kHz、128kbps～192kbps
- WMA形式のファイルを作る時には著作権保護機能を外して作成してください。

MP3/WMAファイルを再生する

準備
- 本機とテレビの電源を入れて、テレビの入力を本機が接続されているビデオ入力に切り換えます。
- FUNCTIONボタンを押して、ファンクションを「DVD/CD」に切り換えます。

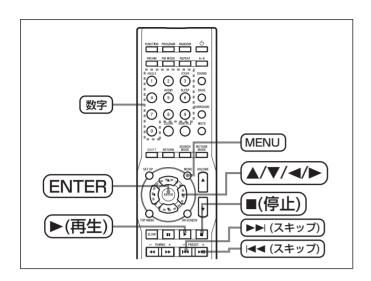
1 本体の ▲(ディスクトレイ開/閉)ボタンを押す

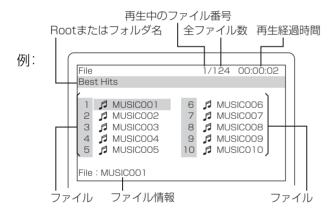
ディスクトレイが開きます。また、表示窓に「OPEN」が表示され、テレビ画面に「 ▲ 」が表示されます。

- 電源が切れているときでも、本体の ▲ (ディスクトレイ開/閉)ボタンを押すと自動的に電源が入り、ディスクトレイが開きます。ファンクションは電源を切る前のファンクションになります。FUNCTIONボタンを押して、ファンクションを「DVD/CD」に切り換えてください。

2 ディスクをディスクトレイに置く

再生面を下にして溝にそって正しく置きます。

操作中に「 ⃠ 」が画面に表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

3 本体の ▲(ディスクトレイ開/閉)ボタンを押す

表示窓に「CLOSE」、テレビ画面に「 ▲ 」が表示されディスクトレイが閉まり、テレビ画面に「Reading」と表示され、表示窓に「READING」の後「MP3」または「WMA」と「FILE」、「 ▶ 」を表示し、テレビ画面に最初の音楽ファイル一覧画面を表示して、一曲目から再生が始まります。

4 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ

● ボタンを押すたびにファイルが順に選択され、次または前のファイルへ移動します。**数字**ボタンを押して直接ファイル番号を入力したり、I◀◀ (スキップ)、▶▶I (スキップ)ボタンで選択することもできます。

5 ENTERボタンを押す

選択したファイルが再生された後、以降の曲が順に再生されます。

● 再生中のファイル名の色が変わります。

● 曲情報が登録されているときは、ファイル情報（Artist/Songなど）が順に表示されます。

● 電源が切れているときでも、▶（再生）ボタンを押すと自動的に電源が入り、ディスクが入っていれば最初の音楽ファイルから再生が始まります。

再生中のファイル番号　全ファイル数　再生経過時間

例：

File　23/124　00:00:03
Best Hits

21 MUSIC021　26 MUSIC026
22 MUSIC022　27 MUSIC027
23 MUSIC023　28 MUSIC028
24 MUSIC024　29 MUSIC029
25 MUSIC025　30 MUSIC030

Title : LOVE SONG

ファイル情報(半角英数字のみ表示)

（表示窓の表示例）

再生を途中で止める

■（停止）ボタンを押す

停止した位置から再生するとき（リジューム機能）

再生中に ■（停止）ボタンを1回押すと、「Resume ■ 」と表示されます。
▶（再生）ボタンを押すと、停止したところから再生が始まります。

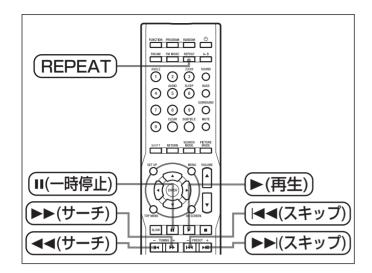
完全に停止させるとき（リジューム機能の解除）

本体の ▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを押してディスクを取り出すか、上記の状態からもう一度 ■（停止）ボタンを押します。（完全停止状態）
完全に停止状態になり、次に再生するときはディスクの最初の音楽ファイルから始まります。

ちょっとこれを！

● 「Resume ■ 」と表示されないときは、リジューム再生できません。
● ディスクによってはリジューム再生できない場合があります。
● リジューム再生は、停止した場所によっては、停止位置からずれて始まる場合があります。
● 本機の電源を切ったときやディスクトレイを開閉したとき、あるいはファンクションを切り換えたときは、リジューム再生の記録が消えます。

ディスク再生

MP3/WMAファイルを再生する（つづき）

一時停止する

再生中に、II（一時停止）ボタンを押す

テレビ画面と表示窓に「 II 」が表示されます。

通常の再生に戻すときは ▶（再生）ボタンを押す

曲をとび越す／頭出しする(スキップ)

再生または一時停止中に、I◀◀（スキップ）または▶▶I（スキップ）ボタンを押す

押すたびに、テレビ画面に「 I◀◀ 」または「 ▶▶I 」が表示されます。

曲の途中で I◀◀（スキップ）を押すとその曲の頭に戻ります。

ちょっとこれを！

● 表示される全てのファイルで、曲のとび越しまたは頭出し(スキップ)をすることができます。

操作中に「 ⃠ 」が画面に表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

早送り、早戻しする

再生または一時停止中に、▶▶（サーチ）または◀◀（サーチ）ボタンを押す

押すたびに、早さが切り換わります。

テレビ画面には以下のように表示されます。

早送り：▶▶（サーチ）ボタン

▶▶1→▶▶2→▶▶3→▶▶4→ ▶▶1 ･･･

早戻し：◀◀（サーチ）ボタン

◀◀1→◀◀2→◀◀3→◀◀4→ ◀◀1 ･･･

通常の再生に戻すときは、▶（再生）ボタンを押す

ちょっとこれを！

● 早送り、早戻し中は音声が出ません。
● WMAファイルでの早戻し、または早送り（サーチ）はできません。

繰り返し再生する

再生中にREPEATボタンを押して、リピートモードを選ぶ

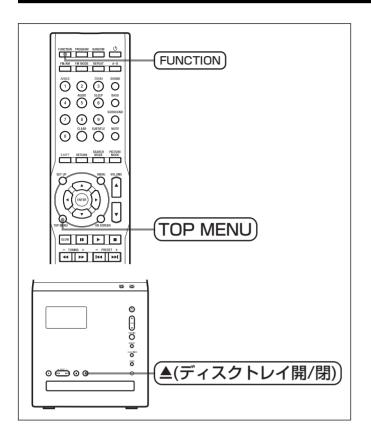
押すたびに、テレビ画面の表示が以下のように切り換わります。

→ 1（リピート1）→ All（全ファイルリピート）→ Off（オフ）→

テレビ画面	表示窓	動作
1	REP.1	再生中の曲を繰り返す
All	ALL REP.	全ファイルを繰り返す
Off		リピート再生取り消し

通常の再生に戻すには、REPEATボタンを押して「Off」を選ぶ

ちょっとこれを！

● 停止中にリピートモードを選ぶこともできます。
● 本機の電源を切/入したり、完全停止状態にする、またはディスクトレイを開閉したときやファンクションを切り換えると、リピート再生は取り消されます。
● リジューム停止中はリピート再生の設定は残ります。
● リピート再生中にCLEARボタンを押すとテレビ画面に「 Off」が表示されてリピート再生が取り消され、通常再生に戻ります。

JPEGファイルを再生する

フジカラーCDやデータCD（CD-R、CD-RWなど）に記録されているJPEG形式の画像ファイルを再生することができます。

JPEGファイルの再生について

- ISO9660(レベル1、レベル2)フォーマットに準拠したディスクを再生できます。
- JPEG形式のファイルで拡張子「.jpg」が付加されているファイルを再生できます。他の画像形式のファイルや「.jpeg」、「.bmp」、「.tif」などの異なる拡張子が付いたファイルは再生できません。
- オーディオCDトラックとJPEGファイルが混在したCDはオーディオCDトラックのみ再生します。
- ファイル構成にもよりますが、JPEGファイルを読み取るのに30秒以上かかることがあります。
- ファイル名、フォルダー名は半角英数字で入力されている場合のみ表示されます。それ以外の文字は "-"（ハイフン）で表示されます。
- ファイル数999またはフォルダー数150まで認識できます。ただし、フォルダ構造によって全てのファイルが認識できない場合があります。
- ファイルサイズが大きい場合は、テレビ画面に表示されるのに時間がかかることがあります。
- 画像サイズは5760X3840まで表示可能です。
- JPEG CDは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状態により再生できないこともあります。

<再生可能なJPEG形式>

- JPEG（ITU-T T.81/ISO/IEC 10918-1）に適応したDCT方式のベースラインプロセスおよびプログレッシブ。ただし、プログレッシブ方式のJPEGファイルは、作成したエンコードソフトによっては再生できないことがあります。
- JPEG2000やMotion JPEGなどのファイルは再生できません。

フジカラーCDや データCD（JPEG）を再生する

準備

- 本機とテレビの電源を入れて、テレビの入力を本機が接続されているビデオ入力に切り換えます。
- FUNCTIONボタンを押して、ファンクションを「DVD/CD」に切り換えます。

1 本体の ▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを押す

ディスクトレイが開きます。また、表示窓に「OPEN」が表示され、テレビ画面に「 ▲ 」が表示されます。

- 電源が切れているときでも、本体の ▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを押すと自動的に電源が入り、ディスクトレイが開きます。ファンクションは電源を切る前のファンクションになります。FUNCTIONボタンを押して、ファンクションを「DVD/CD」に切り換えてください。

2 ディスクをディスクトレイに置く

再生面を下にして溝にそって正しく置きます。

3 本体の ▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを押す

表示窓に「CLOSE」、テレビ画面に「 ▲ 」が表示されディスクトレイが閉まり、テレビ画面に「Reading」と表示され、表示窓に「READING」の後「PHOTO」と「 ► 」を表示し、自動的に最初の画像から順にスライドショー再生が始まります。

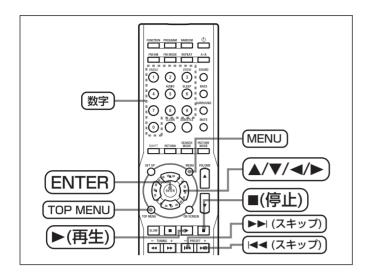
■ 画像一覧画面から画像を選択する

4 TOP MENUボタンを押す

テレビ画面に9枚分の画像一覧画面が表示されます。

例：

ディスク再生

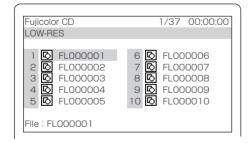
JPEGファイルを再生する（つづき）

5 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、見たい画像を選ぶ

- I◀◀ (スキップ)または ▶▶I (スキップ)ボタンを押すと、画像が9枚ずつ切り換わります。

6 ENTERボタンを押す

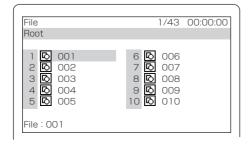
選択した画像と以降の画像を順にスライドショー再生します。

- 電源が切れているときでも、▶ (再生)ボタンを押すと自動的に電源が入り、ディスクが入っていれば最初の画像から順にスライドショー再生が始まります。
- スライドショー再生中またはファイル一覧表示中にTOP MENUボタンを押すと、画像一覧画面が表示されます。
- スライドショー再生中または画像一覧表示中に ■ (停止)ボタンを押すと、ファイル一覧画面が表示されます。

例:

■ ファイル一覧画面から画像を選択する

4 ■ (停止)ボタンを押す

テレビ画面にファイル一覧画面が表示されます。

例:

5 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、見たい画像を選ぶ

- ボタンを押すたびにファイルが順に選択され、次または前のファイルへ移動します。**数字**ボタンを押して直接ファイル番号を入力して選択することもできます。

6 ENTERボタンを押す

選択した画像と以降の画像を順にスライドショー再生します。

- 電源が切れているときでも、▶ (再生)ボタンを押すと自動的に電源が入り、ディスクが入っていれば最初の画像から順にスライドショー再生が始まります。
- スライドショー再生中またはファイル一覧表示中にTOP MENUボタンを押すと、画像一覧画面が表示されます。

再生を途中で止める

■ (停止)ボタンを押す

停止した位置から再生するとき(リジューム機能)

スライドショー再生中に ■ (停止)ボタンを1回押すと、「Resume ■」と表示されます。
▶ (再生)ボタンを押すと、停止したところから再生が始まります。

完全に停止させるとき(リジューム機能の解除)

本体の ▲ (ディスクトレイ開/閉)ボタンを押してディスクを取り出すか、上記の状態からもう一度 ■ (停止)ボタンを押します。(完全停止状態)
完全に停止状態になり、次にスライドショー再生するときは選択中またはディスクの最初の画像ファイルから始まります。

ちょっとこれを!

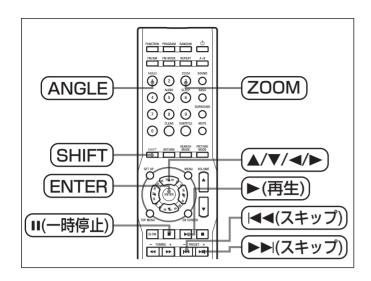
- 「Resume ■」と表示されないときは、リジューム再生できません。
- ディスクによってはリジューム再生できない場合があります。
- リジューム再生は、停止した場所によっては、停止位置からずれて始まる場合があります。
- 本機の電源を切ったときやディスクトレイを開閉したとき、あるいはファンクションを切り換えたときは、リジューム再生の記録が消えます。

一時停止する

スライドショー再生中に、II (一時停止)ボタンを押す

表示窓とテレビ画面に「 II 」が表示されます。

通常のスライドショー再生に戻すときは ▶ (再生)ボタンを押す

JPEGファイルを再生する（つづき）

画像を切り換える

スライドショー再生または一時停止中に、|◀◀（スキップ）または ▶▶|（スキップ）ボタンを押す

押すたびに、テレビ画面に「|◀◀」または「▶▶|」が表示されて次または前の画像が表示されます。

画像を回転させる

1 スライドショー再生中に、❚❚（一時停止）ボタンを押す

2 SHIFTボタンを押しながらANGLEボタンを押す

押すたびに、画像が時計回りに90°回転します。
テレビ画面には以下のように表示されます。

→ 90° → 180° → 270° → Normal

- 一時停止していなくても画像を回転することはできます。

通常のスライドショー再生に戻るには ▶（再生）ボタンを押す

画像を拡大する

1 スライドショー再生中に、❚❚（一時停止）ボタンを押す

操作中に「⃠」が画面に表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

2 SHIFTボタンを押しながらZOOMボタンを押す

押すたびに、テレビ画面の表示が以下のように切り換わります。

Q1 → Q2 → Q3 → Q4 → QOff → Q1 …

テレビ画面の中央を中心に映像が拡大されます。

- 一時停止していなくても画像を拡大することはできます。
- 数字が大きくなるほど、拡大されていきます。
- 拡大表示中に▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、拡大部分を移動することができます。画面の端までくると、移動が止まります。

元の画像に戻すには、SHIFTボタンを押しながらZOOMボタンを押して「QOff」を選ぶ

もとの大きさに戻ります。

通常のスライドショー再生に戻るには ▶（再生）ボタンを押す

MP3、WMAとJPEGファイルが記録されたディスクを再生する

1枚のディスクにMP3形式やWMA形式の音楽ファイルとJPEG形式の画像ファイルが記録されている場合は以下のように操作します。

1 P41 **1～3の操作をする**

テレビ画面にファイルの一覧画面または画像が表示され、ディスクの最初のファイルが再生されます。

- 画像が表示されたときは、■（停止）ボタンを押すとファイル一覧画面が表示されます。

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、再生したいファイル（MP3/WMA/JPEG）を選ぶ

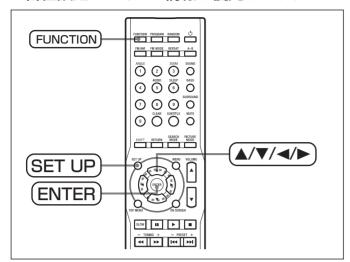
3 ENTERボタンを押す

選択したファイルが再生された後、以降のファイルが順に再生されます。

- MP3形式やWMA形式のファイル、またはJPEG形式のファイルを指定して優先的に再生することはできません。
- ファイル再生の優先順位は、ルートディレクトリにあるファイルを再生後、フォルダ内のファイルを再生します。

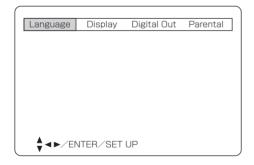
言語設定を変更する

DVD

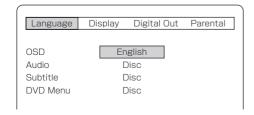
<各種設定はディスク情報が優先されます>

画面表示や再生される音声、表示される字幕、DVDメニューの言語を設定します。

準備　FUNCTIONボタンを押して、ファンクションを「DVD/CD」に切り換えます。ディスクが入っているときは、本体の▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを押してディスクを取り出してから操作してください。

1 停止中に、SET UPボタンを押す

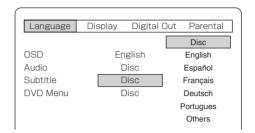
初期設定画面が表示されます。

2 ◀/▶ ボタンを押して、「Language」を選ぶ

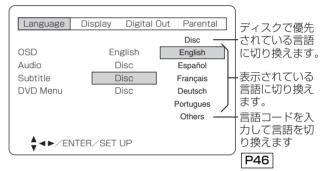
3 ENTERボタンを押す

Language設定のサブメニューが表示されます。

4 ▲/▼ ボタンを押して、設定したい項目を選ぶ

OSD･Audio･Subtitle･DVD Menuから選びます。

5 ENTERボタンを押す

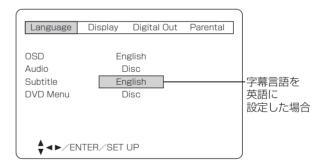
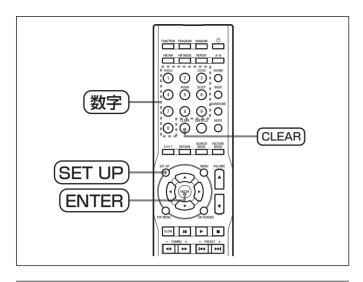
言語の一覧メニューが表示されます。[例:字幕]

6 ▲/▼ ボタンを押して、設定したい言語を選ぶ

選んだ言語が選ばれます。[例:日本語]

7 ENTERボタンを押す

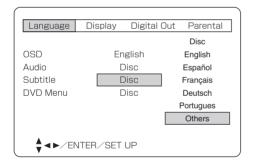
言語が設定されます。

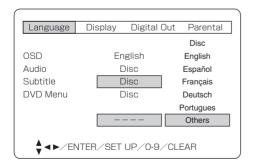
8 SET UPボタンを押す

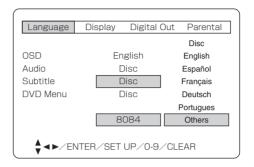
初期設定画面が消えます。

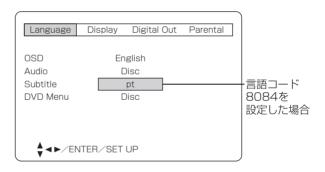
ちょっとこれを！

- 設定した言語がディスクにないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。
- OSDの言語選択表示に「Disc」と「Others」は表示されません。
- 「OSD」とはOn Screen Displayの略語で、各設定値をディスプレイの一部に表示しながら設定出来るようにしたディスプレイ表示機能です。設定項目の選択や調整の状態をディスプレイ上で確認しながら操作できます。

その他の言語を設定する

メニューに表示されないその他の言語を設定するときは、4桁の言語コードを入力します。

1 P44 操作6で「Others」を選ぶ

2 ENTERボタンを押す

言語コード入力画面が表示されます。

3 数字ボタンを押して言語コードを入力する

入力するコードは、言語コード一覧表をご覧ください。P46
入力を訂正するときは、CLEARボタンを押して、再入力してください。

4 ENTERボタンを押す

入力した言語が設定されます。

5 SET UPボタンを押す

初期設定画面が消えます。

言語設定を変更する（つづき）

言語コード一覧表

コード	表　示	言　語
6565	aa	Afar
6566	ab	Abkhazian
6570	af	Afrikaans
6577	am	Amharic
6582	ar	Arabic
6583	as	Assamese
6589	ay	Aymara
6590	az	Azerbaijani
6665	ba	Bashkir
6669	be	Byelorussian
6671	bg	Bulgarian
6672	bh	Bihari
6673	bi	Bislama
6678	bn	Bengali; Bangla
6679	bo	Tibetan
6682	br	Breton
6765	ca	Catalan
6779	co	Corsican
6783	cs	Czech
6789	cy	Welsh
6865	da	Danish
6869	de	German
6890	dz	Bhutani
6976	el	Greek
6978	en	English
6979	eo	Esperanto
6983	es	Spanish
6984	et	Estonian
6985	eu	Basque
7065	fa	Persian
7073	fi	Finnish
7074	fj	Fiji
7079	fo	Faeroese
7082	fr	French
7089	fy	Frisian
7165	ga	Irish
7168	gd	Scots Gaelic
7176	gl	Galician
7178	gn	Guarani
7185	gu	Gujarati
7265	ha	Hausa
7273	hi	Hindi
7282	hr	Croatian
7285	hu	Hungarian
7289	hy	Armenian
7365	ia	Interlingua

コード	表　示	言　語
7369	ie	Interlingue
7375	ik	Inupiak
7378	in	Indonesian
7383	is	Icelandic
7384	it	Italian
7387	iw	Hebrew
7465	ja	Japanese
7473	ji	Yiddish
7487	jw	Javanese
7565	ka	Georgian
7575	kk	Kazakh
7576	kl	Greenlandic
7577	km	Cambodian
7578	kn	Kannada
7579	ko	Korean
7583	ks	Kashmiri
7585	ku	Kurdish
7589	ky	Kirghiz
7665	la	Latin
7678	In	Lingala
7679	lo	Laothian
7684	lt	Lithuanian
7686	lv	Latvian, Lettish
7771	mg	Malagasy
7773	mi	Maori
7775	mk	Macedonian
7776	ml	Malayalam
7778	mn	Mongolian
7779	mo	Moldavian
7782	mr	Marathi
7783	ms	Malay
7784	mt	Maltese
7789	my	Burmese
7865	na	Nauru
7869	ne	Nepali
7876	nl	Dutch
7879	no	Norwegian
7967	oc	Occitan
7977	om	(Afan) Oromo
7982	or	Oriya
8065	pa	Punjabi
8076	pl	Polish
8083	ps	Pashto, Pushto
8084	pt	Portuguese
8185	qu	Quechua
8277	rm	Rhaeto-Romance

コード	表　示	言　語
8278	rn	Kirundi
8279	ro	Romanian
8285	ru	Russian
8287	rw	Kinyarwanda
8365	sa	Sanskrit
8368	sd	Sindhi
8371	sg	Sangro
8372	sh	Serbo-Croatian
8373	si	Singhalese
8375	sk	Slovak
8376	sl	Slovenian
8377	sm	Samoan
8378	sn	Shona
8379	so	Somali
8381	sq	Albanian
8382	sr	Serbian
8383	ss	Siswati
8384	st	Sesotho
8385	su	Sundanese
8386	sv	Swedish
8387	sw	Swahili
8465	ta	Tamil
8469	te	Telugu
8471	tg	Tajik
8472	th	Thai
8473	ti	Tigrinya
8475	tk	Turkmen
8476	tl	Tagalog
8478	tn	Setswana
8479	to	Tonga
8482	tr	Turkish
8483	ts	Tsonga
8484	tt	Tatar
8487	tw	Twi
8575	uk	Ukrainian
8582	ur	Urdu
8590	uz	Uzbek
8673	vi	Vietnamese
8679	vo	Volapük
8779	wo	Wolof
8872	xh	Xhosa
8979	yo	Yoruba
9072	zh	Chinese
9085	zu	Zulu

画面設定を変更する

接続するテレビの画面サイズを設定する

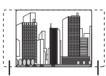
本機に接続するテレビに合わせて、出力する画面のサイズを設定します。

通常のテレビ(4:3)に接続する場合

● 4:3LB(レターボックス)

通常のテレビ(4:3)に接続したときに選択してください。ワイド画像(16:9)のディスクを再生したとき、レターボックス(上下に黒い帯のある画面)で再生します。

● 4:3PS(パンスキャン)

通常のテレビ(4:3)に接続したときに選択してください。、パンスキャンに対応したワイド画像(16:9)のディスクを再生したとき、ワイド画像の一部をカットして再生します。パンスキャンに対応しないワイド画像(16:9)のディスクではレターボックスで再生します。

ワイドテレビ(16:9)に接続する場合

● 16:9

ワイドテレビ(16:9)に接続したときに選択してください。ワイド画像(16:9)のディスクを再生したとき、フル画像で再生します。ワイドテレビの表示モードで「フル」を選択してください。

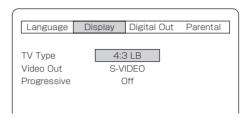
準備　FUNCTIONボタンを押して、ファンクションを「DVD/CD」に切り換えます。ディスクが入っているときは、本体の▲(ディスクトレイ開/閉)ボタンを押してディスクを取り出してから操作してください。

1 停止中に、SET UPボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

2 ◀/▶ ボタンを押して、「Display」を選ぶ

3 ENTERボタンを押す

Display設定のサブメニューが表示されます。

4 ▲/▼ ボタンを押して、表示タイトルの「TV Type」を選ぶ

5 ENTERボタンを押す

TV Typeの選択メニューが表示されます。

Language	Display	Digital Out	Parental

TV Type	4:3 LB	4:3 LB
Video Out	S-VIDEO	4:3 PS
Progressive	Off	16:9

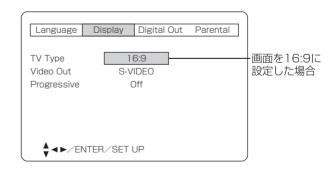
6 ▲/▼ ボタンを押して、設定したい項目を選ぶ

4:3LB、4:3PS、16:9から選びます。

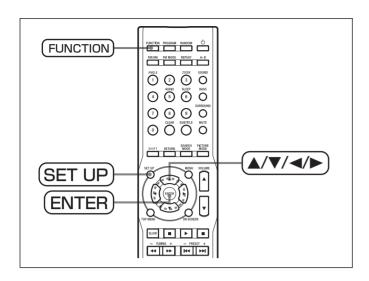
7 ENTERボタンを押す

8 SET UPボタンを押す

初期設定画面が消えます。

ちょっとこれを!

● ディスクによっては、本機で出力設定しても、ディスクが指定しているモードで再生される場合があります。

● テレビに映し出される映像は、ソフトの種類や接続するテレビによって異なります。

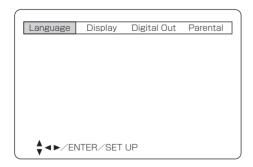
画面設定を変更する（つづき）

映像信号の出力端子を選択する

本機の映像信号の出力端子を接続するテレビの仕様や目的に合わせて設定します。

S-VIDEO
　S-VIDEO OUT端子にテレビを接続したときに選びます。

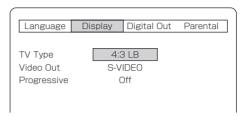
D1/D2
　D1/D2 VIDEO OUT端子にテレビを接続したときに選びます。映像出力方式を接続したテレビに合わせて、プログレッシブ方式に設定することができます。

準備　FUNCTIONボタンを押して、ファンクションを「DVD/CD」に切り換えます。ディスクが入っているときは、本体の▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを押してディスクを取り出してから操作してください。

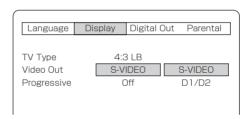
1 停止中に、SET UPボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

2 ◀/▶ ボタンを押して、「Display」を選ぶ

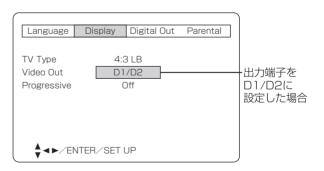
3 ENTERボタンを押す

Display設定のサブメニューが表示されます。

4 ▲/▼ ボタンを押して、表示タイトルの「Video Out」を選ぶ

5 ENTERボタンを押す

Video Outの選択メニューが表示されます。

6 ▲/▼ ボタンを押して、「S-VIDEO」または「D1/D2」を選ぶ

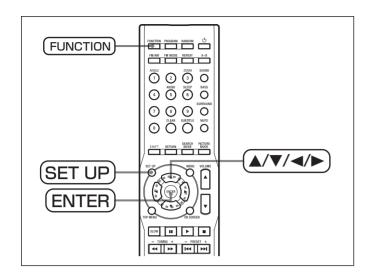
7 ENTERボタンを押す

● 映像信号の出力端子を切り換えると、一瞬テレビ画面が乱れることがあります。

8 SET UPボタンを押す

初期設定画面が消えます。

ちょっとこれを！

● VIDEO OUT端子には上記の設定に関係なく、常時映像信号が出力されています。

画面設定を変更する（つづき）

映像信号の出力方式（プログレッシブ）を設定する

映像の表示方式にはインターレース方式とプログレッシブ方式があります。プログレッシブ方式で表示すると、特に静止画や文字、横線の多い画像でチラツキの少ないきれいな画面を表示できます。お使いのテレビがプログレッシブ対応の場合、本機のD1/D2 VIDEO OUT端子とテレビのD映像入力端子またはコンポーネント映像入力端子を接続して P16 、プログレッシブ方式にすることをおすすめします。

Off

D1/D2 VIDEO OUT端子からの映像はプログレッシブ方式になりません。（インターレース方式）

On

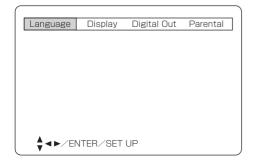
D1/D2 VIDEO OUT端子からの映像はプログレッシブ方式になります。

ご注意

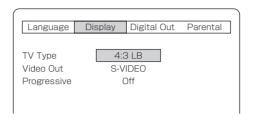
本機をプログレッシブ方式に設定した場合に、テレビの画面が表示されない、または画像が乱れるなどの問題が生じたときは、Progressiveを「Off」に設定してください。

準備　FUNCTIONボタンを押して、ファンクションを「DVD/CD」に切り換えます。ディスクが入っているときは、本体の▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを押してディスクを取り出してから操作してください。

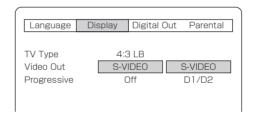
1 停止中に、SET UPボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

2 ◀/▶ ボタンを押して、「Display」を選ぶ

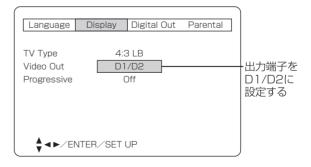
3 ENTERボタンを押す

Display設定のサブメニューが表示されます。

4 ▲/▼ ボタンを押して、表示タイトルの「Video Out」を選ぶ

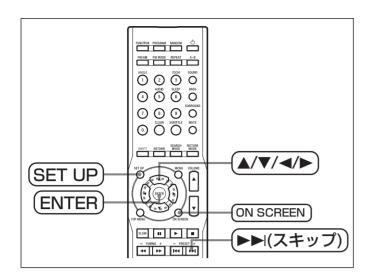
5 ENTERボタンを押す

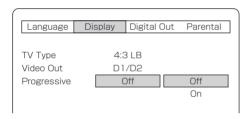
Video Outの選択メニューが表示されます。

6 ▲/▼ ボタンを押して、「D1/D2」を選ぶ

7 ENTERボタンを押す

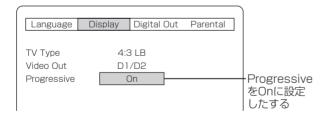
● 映像信号の出力端子を切り換えると、一瞬テレビ画面が乱れることがあります。

8 ▲ / ▼　ボタンを押して、表示タイトルの「Progressive」を選ぶ

初期設定

画面設定を変更する（つづき）

9 ENTERボタンを押す

Progressiveの選択メニューが表示されます。

10 ▲/▼ ボタンを押して、「On」を選ぶ

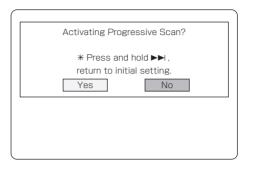
11 ENTERボタンを押す

Progressive をOnに設定したする

12 SET UPボタンを押す

初期設定画面が消えます。

ご注意

ディスクが入っているときは、次の操作13の画面は表示されません。本体の ▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを押してディスクを取り出してから操作してください。

13 ▶▶|（スキップ）ボタンを確認画面が表示されるまで押し続ける（約7秒間）

14 ◀ ボタンを押して、「Yes」を選ぶ

15 ENTERボタンを押す

映像信号の出力方式がプログレッシブ方式に切り換わり、テレビ画面に「 P（プログレッシブ）」が表示されます。

■ 画面が正常に表示されなくなったときは

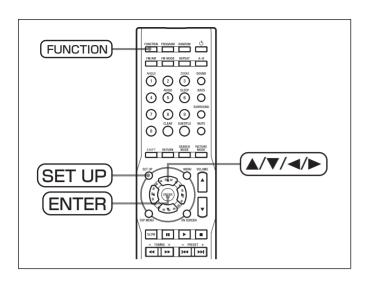
プログレッシブ方式に切り換えた時、画面になにも表示されなくなった場合は、▶▶|（スキップ）ボタンを押し続ける（約7秒間）とインターレース方式に戻すことができます。

テレビ画面に「 I（インターレース）」が表示されます。

- Progressiveの設定は「On」のままです。
- 表示窓に「NO DISC」が表示された状態で**ON SCREEN**ボタンを押し続ける（約7秒間）と、Video OutとProgressiveの設定を初期値（Video Out - S-VIDEO/Progressive - Off）に戻すことができます。映像信号の出力端子がS-VIDEO OUTに切り換わり、映像信号の出力方式がインターレース方式に切り換わります。

ちょっとこれを！

- プログレッシブ方式に切り換えると、映像出力端子、S映像出力端子から映像信号は出力されなくなります。
- 本機のD1/D2 VIDEO OUT端子とプログレッシブ未対応のテレビを接続している場合、プログレッシブ方式に切り換えても、画面になにも表示されません。

デジタル出力設定を変更する

ドルビーデジタル(DOLBY DIGITAL)の設定

本機のDIGITAL AUDIO OUT OPTICAL(デジタル音声光出力)端子に接続するオーディオ機器の仕様や目的に合わせて設定します。

BitStream
　ドルビーデジタルデコーダーを内蔵したオーディオ機器を接続したときに選びます。

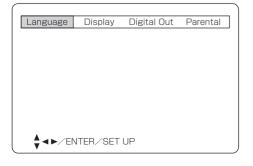
LPCM
　通常のオーディオ機器で再生するときに選びます。ドルビーデジタル信号をリニアPCM信号に変換して出力します。

ご注意

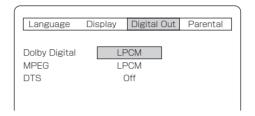
● DIGITAL AUDIO OUT OPTICAL(デジタル音声光出力)端子にドルビーデジタルデコーダーを内蔵しない機器を接続したときは「BitStream」に設定しないでください。音が出なかったり、異音が出て機器を破損することがあります。

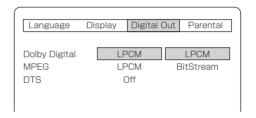
準備　FUNCTIONボタンを押して、ファンクションを「DVD/CD」に切り換えます。ディスクが入っているときは、本体の▲(ディスクトレイ開/閉)ボタンを押してディスクを取り出してから操作してください。

1 停止中に、SET UPボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

2 ◀/▶ ボタンを押して、「Digital Out」を選ぶ

3 ENTERボタンを押す

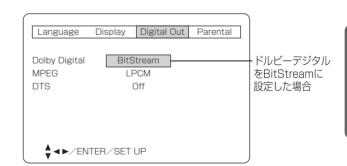
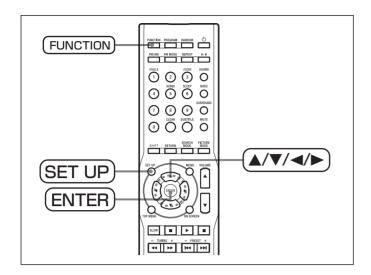
Digital Out設定のサブメニューが表示されます。

4 再度、ENTERボタンを押す

Dolby Digitalの選択メニューが表示されます。

5 ▲/▼　ボタンを押して、「LPCM」または「BitStream」を選ぶ

6 ENTERボタンを押す

7 SET UPボタンを押す

初期設定画面が消えます。

初期設定

デジタル出力設定を変更する（つづき）

MPEGの設定

本機のDIGITAL AUDIO OUT OPTICAL（デジタル音声光出力）端子に接続するオーディオ機器の仕様や目的に合わせて設定します。

BitStream
接続したオーディオ機器がMPEGに対応しているときに選びます。

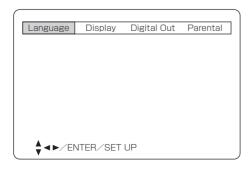
LPCM
接続したオーディオ機器がMPEGに対応していないときに選びます。MPEG信号をリニアPCM信号に変換して出力します。

ご注意

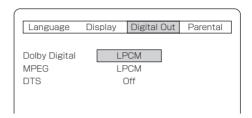
● DIGITAL AUDIO OUT OPTICAL（デジタル音声光出力）端子にMPEGデコーダーを内蔵しない機器を接続したときは「BitStream」に設定しないでください。音が出なかったり、異音が出て機器を破損することがあります。

準備　FUNCTIONボタンを押して、ファンクションを「DVD/CD」に切り換えます。ディスクが入っているときは、本体の▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを押してディスクを取り出してから操作してください。

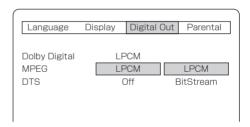
1 停止中に、SET UPボタンを押す

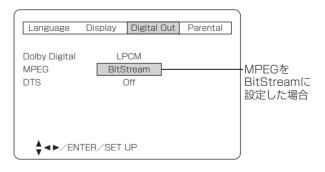
初期設定画面が表示されます。

2 ◀/▶ ボタンを押して、「Digital Out」を選ぶ

3 ENTERボタンを押す

Digital Out設定のサブメニューが表示されます。

4 ▲/▼ ボタンを押して、表示タイトルの「MPEG」を選ぶ

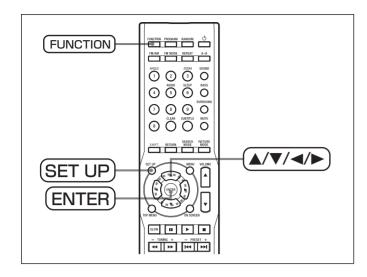
5 ENTERボタンを押す

MPEGの選択メニューが表示されます。

6 ▲/▼ ボタンを押して、「LPCM」または「BitStream」を選ぶ

7 ENTERボタンを押す

8 SET UPボタンを押す

初期設定画面が消えます。

デジタル出力設定を変更する（つづき）

DTS（dts）の設定

本機のDIGITAL AUDIO OUT OPTICAL（デジタル音声光出力）端子に接続するオーディオ機器の仕様や目的に合わせて設定します。

DTS On

DTSデコーダ内蔵のオーディオ機器を本機のDIGITAL AUDIO OUT OPTICAL（デジタル音声光出力）端子に接続して音声を再生するときに「On」にします。

DTS Off

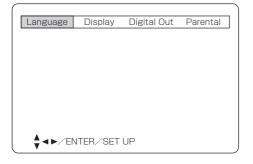
DTSデコーダを内蔵していない機器で音声を再生するときは「Off」にします

ご注意

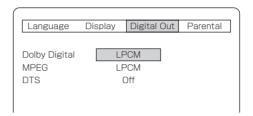
● DIGITAL AUDIO OUT OPTICAL（デジタル音声光出力）端子にDTSデコーダーを内蔵しない機器を接続したときは、「DTS」を「On」に設定しないでください。大音量によって耳に障害を受けたり、スピーカーを破損する恐れがあります。

準備　**FUNCTION**ボタンを押して、ファンクションを「DVD/CD」に切り換えます。ディスクが入っているときは、本体の▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを押してディスクを取り出してから操作してください。

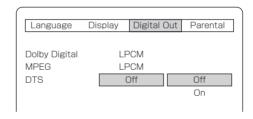
1 停止中に、SET UPボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

2 ◀/▶ ボタンを押して、「Digital Out」を選ぶ

3 ENTERボタンを押す

Digital Out設定のサブメニューが表示されます。

4 ▲/▼ ボタンを押して、表示タイトルの「DTS」を選ぶ

5 ENTERボタンを押す

DTSの選択メニューが表示されます。

6 ▲/▼ ボタンを押して、「On」または「Off」を選ぶ

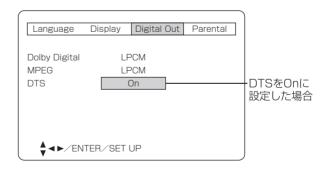
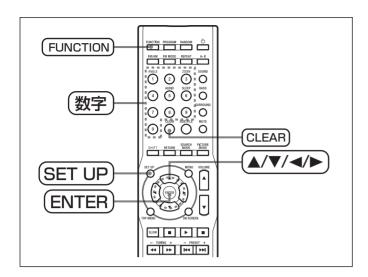
7 ENTERボタンを押す

8 SET UPボタンを押す

初期設定画面が消えます。

初期設定

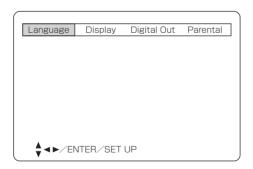
視聴年齢制限を変更する

DVD

暴力場面などを含むDVDディスクには、見る人の年齢によって視聴を制限できるようにレベル設定されているものがあります。本機では、どのレベルまで再生できるかを設定できます。
適切な制限レベルは実際にお客さまご自身で動作させてご確認ください。

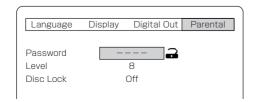
視聴年齢制限を設定する

準備　FUNCTIONボタンを押して、ファンクションを「DVD/CD」に切り換えます。ディスクが入っているときは、本体の▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを押してディスクを取り出してから操作してください。

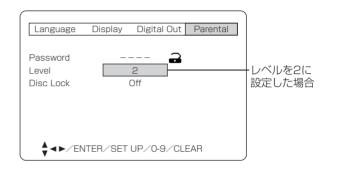
1 停止中に、SET UPボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

2 ◀/▶ ボタンを押して、「Parental」を選ぶ

3 ENTERボタンを押す

Parental 設定のサブメニューが表示されます。

4 ▲/▼ ボタンを押して、「Level」を選ぶ

5 ENTERボタンを押して設定したいレベルを選ぶ

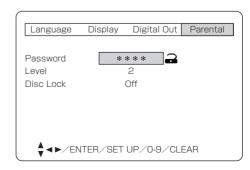
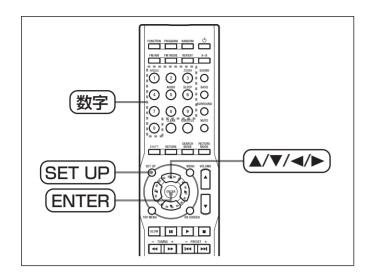
押すたびに、レベルが変わります。
テレビ画面には以下のように表示されます。
1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7 → 8 → 1 ･･･

ちょっとこれを！

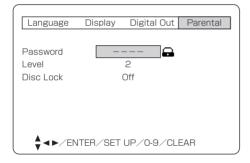
- 「レベル1」～「レベル8」の中から選びます。
- 「レベル 8」は視聴制限を全くしない設定です。
- 設定した視聴制限レベルを超えたDVDディスクを再生すると、メッセージがテレビ画面に表示されます。そのときは画面の指示にしたがってください。
- レベル数値が小さいほど制限が厳しくなります。

6 ▲/▼ ボタンを押して、「Password」を選ぶ

Password入力画面が選ばれます。

7 数字ボタンを押して4桁のパスワードを入力する

入力した数字の代わりに「＊＊＊＊」と表示されます。
入力を誤ったときは、CLEARボタンを押して、再入力してください。

視聴年齢制限を変更する（つづき）

8 ENTERボタンを押す

パスワードが設定され、視聴年齢制限が設定されます。

9 SET UPボタンを押す

初期設定画面が消えます。

ちょっとこれを！

- 視聴年齢制限を設定していないディスクは、本機で制限を設定しても再生を制限できません。
- ディスクによっては、制限された場面がカットされたり、別の場面に差し替えられたりする場合があります。

視聴年齢制限のレベルを変更する

1. P54 1～3の操作をする
2. 数字ボタンを押して、4桁のパスワードを入力する
3. ENTERボタンを押す

   ロックが解除されて、レベルが変更できるようになります。
4. P54～55 4～9の操作をする

制限のあるディスクを再生したとき

「No Play」と表示されて再生が停止したときは、左記の「視聴年齢制限のレベルを変更する」の操作をおこなって制限レベルの変更をしないと再生できません。
また、一時的に制限レベルを変えるように要求する画面が表示されたときは以下のように操作してください。

［操作例］

1. ◀/▶ボタンを押してDVDソフトメニューの「Yes」または「はい」を選ぶ
2. ENTERボタンを押す

   パスワードを入力する画面が表示されます。
3. 数字ボタンを押して4桁のパスワードを入力する
4. ENTERボタンを押す

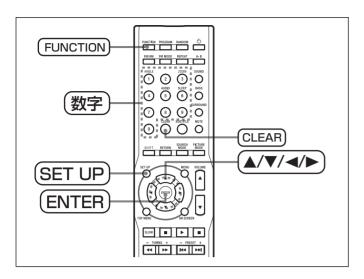
ちょっとこれを！

- 操作1で「No」または「いいえ」を選んだり、パスワードに誤りがあると再生できません。
- 再生を停止すると制限が働いて次の再生ができなくなる場合があります。

パスワードを忘れたときは

1. パスワード入力画面で、パスワードの代わりに6桁の数字「788444」を入力する
2. ENTERボタンを押す

   ロックが解除されます。新しくパスワードを入力してください。

ディスクトレイをロックする

小さなお子さまが誤って使用されるのを防ぐために、ディスクトレイをロックすることができます。

準備　FUNCTIONボタンを押して、ファンクションを「DVD/CD」に切り換えます。ディスクが入っているときは、本体の▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを押してディスクを取り出してから操作してください。

1 P54 1〜3の操作をする

Parental 設定のサブメニューが表示されます。

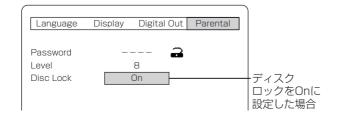
- パスワードが設定されている場合は、**数字**ボタンを押して、4桁のパスワードを入力後、**ENTER**ボタンを押してロックを解除してください。

2 ▲/▼ ボタンを押して、「Disc Lock」を選ぶ

3 ENTERボタンを押す

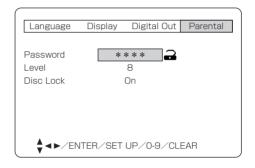
Disc Lockの選択メニューが表示されます。

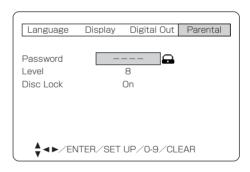
4 ▲/▼ ボタンを押して、「On」を選ぶ

5 ENTERボタンを押す

6 ▲/▼ ボタンを押して、「Password」を選ぶ

Password入力画面が選ばれます。

7 数字ボタンを押して4桁のパスワードを入力する

入力した数字の代わりに「＊＊＊＊」と表示されます。
入力を誤ったときは、**CLEAR**ボタンを押して、再入力してください。

8 ENTERボタンを押す

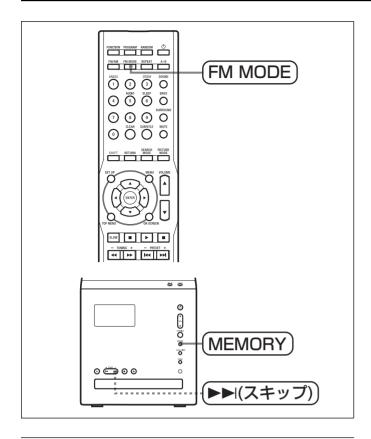
パスワードが設定され、ディスクトレイロックが設定されます。

9 SET UPボタンを押す

初期設定画面が消えます。

10 本体の ▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを押してディスクトレイが開いた状態で、本体の ▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを表示窓に「LOCKED」が表示されるまで押し続ける

▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを押してもディスクトレイは開かなくなります。

- ディスクトレイのロックを解除するには、トレイロック中に本体の▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを表示窓に「UNLOCKED」が表示されるまで押し続けます。
- **トレイロック中に本体の ▲（ディスクトレイ開/閉）ボタンを押すと、表示窓に「LOCKED」と表示されます。**
- 「パスワードを忘れたときは」 P55 もご覧ください。

ラジオを聞く前に

選局方法について

本機では3つの方法で選局ができます。

エリアバンド選局：　札幌(北海道地区)、仙台(東北地区)、東京(関東地区)、名古屋(中部、北陸地区)、大阪(近畿地区)、広島(中国、四国地区)、福岡(九州地区)でご使用になる場合、地域名(エリア)とプリセット番号を選ぶだけで選局します。

アップ／ダウン選局：受信したい放送局の周波数に自動(オートスキャン)または、手動(マニュアル)で合わせます。

プリセット選局：　ご自分でプリセット(プログラム)した放送局を選局するときに使います。
FM24局、AM12局までプリセットできます。

FMステレオ放送の受信について

リモコンのFM MODEボタンを押すたびに、ステレオモード(「MONO」表示が消灯)とモノラルモード(「MONO」表示が点灯)が交互に変わります。ステレオモード時にFMステレオ放送を受信すると、自動的にステレオになります。

- 受信状態が悪いとステレオにならないことがあります。この場合、モノラルモード(「MONO」表示が点灯)にすると、ステレオにはなりませんが聞きやすくなります。
- 他のFM周波数を選ぶと、モノラルモードは自動的に解除されます。ただし、マニュアルチューニング時にはモノラルモードのままになります。P61
- AMステレオ放送、FM文字放送には対応していません。

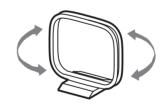
よりよい受信をするためには

アンテナを調節してください。

■FM放送のとき

FM室内アンテナの位置を変え、もっともよく聞こえるようにします。付属の室内アンテナでは雑音が入り聞きづらいときには、室内アンテナをはずし屋外アンテナ P14 を接続してください。

■AM放送のとき

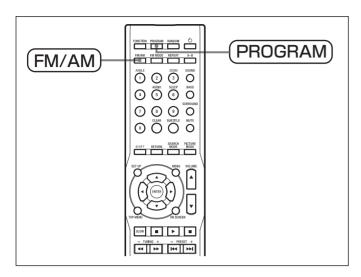
AMループアンテナを本機から離し、アンテナの向きを変えて、もっともよく聞こえるようにします。

受信状態が悪い(ビート音がでる)ときは

ラジオを受信中に、本体のMEMORYボタンを押しながら本体の ▶▶I (スキップ)ボタンを押す

ボタンを押すたびに「bc-A」⟷「bc-B」表示が交互に表示されます。受信状態が良くなる設定を選んでください。

ちょっとこれを！

- テレビに色ズレが生じたり、本機にテレビの雑音が入る場合は、本機とテレビを離してご使用ください。
- 室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でテレビ音声を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。

ラジオを聞く

エリア（7地区）別に主な放送局の周波数がすでに登録（プリセット）されています。P59, 60
本機をお使いになる地域（エリア）に合わせてエリアバンドを切り換え、希望の放送局のプリセット番号を選ぶと放送を選局します。
（工場出荷時は東京に設定されています。）

エリアバンド選局

本機をお使いになる地域（エリア）に合わせてエリアバンドを設定する。

1 FM/AMボタンを押す

- このときは、AM、FMのどちらを受信していてもかまいません。

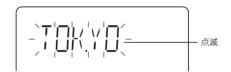
2 PROGRAMボタンを押す

表示窓に「PROG.」と「－－」が約10秒間点滅表示されます。
（表示窓の表示例）

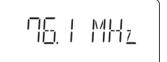
3 「PROG.」点滅中にFM/AMボタンを押して、エリアを選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

TOKYO(東京) → NAGOYA(名古屋) → OSAKA(大阪) → HIROSIMA(広島) → FUKUOKA(福岡) → SAPPORO(札幌) → SENDAI(仙台) → TOKYO(東京) ･･･

（表示窓の表示例：「東京」のエリアを表示）

4 エリア表示点滅中に、PROGRAMボタンを押す

選択した希望するエリアのプリセット番号「1」の放送局を選局します。
（表示窓の表示例：「東京」エリアのプリセット番号「1」を表示）

ちょっとこれを！

- エリアバンド以外の地域の放送を追加受信する場合には、「希望局をマニュアル（手動）プリセットする」P62 に従ってご自分でプリセットするか、または「オート（自動）/マニュアル（手動）チューニング」P61 で受信してください。
- 次ページのエリアバンドプリセット一覧表を参考にしてエリアバンド選局をおこなってください。

ラジオを聞く（つづき）

エリアバンドプリセット一覧表（西日本） （□内数字はプリセット番号を示します。2006年3月現在）

広島(HIROSIMA)：中国、四国地区

	AM放送	kHz
1	NHK第2(広島)	702
2	NHK第1(広島)	1071
3	中国放送(RCC)	1350
4	山陽放送(RSK)	1494
5	山陰放送(BSS)	900
6	NHK第1(島根)	1296
7	NHK第2(島根)	1593
8	山口放送(KRY)	765
9	西日本放送(RNC)	1449
10	南海放送(RNB)	1116
11	高知放送(RKC)	900
12	NHK第1(高知)	990

	FM放送	MHz
1	FM広島	78.2
2	NHK-FM(広島)	88.3
3	FM岡山	78.8
4	NHK-FM(岡山)	88.7
5	FM山陰(V-air)(島根)	77.4
6	NHK-FM(島根)	84.5
7	FM山陰(V-air)(鳥取)	78.8
8	NHK-FM(鳥取)	85.8
9	FM山口	79.2
10	NHK-FM(山口)	85.3
11	FM香川	78.6
12	NHK-FM(香川)	86.0
13	FM愛媛	79.7
14	NHK-FM(愛媛)	87.7
15	FM高知	81.6
16	NHK-FM(高知)	87.5
17	しゅうなんFM	78.4
18	FM NANAKO	77.5
19	エフエムいずも	80.1
20	レディオMOMO	79.0
21	エフエムくらしき	82.8
22	おのみち79.4	79.4
23	レディオBINGO	77.7
24	ピー・ステーション	76.6

名古屋(NAGOYA)：中部、北陸地区

	AM放送	kHz
1	NHK第1(愛知)	729
2	NHK第2(愛知)	909
3	CBC中部日本	1053
4	東海ラジオ	1332
5	岐阜ラジオ	1431
6	NHK第1(静岡)	882
7	静岡放送	1404
8	北日本放送	738
9	北陸放送	1107
10	NHK第1(石川)	1224
11	福井放送	864
12	---	522

	FM放送	MHz
1	FM名古屋(ZIP-FM)	77.8
2	RADIO-i	79.5
3	FM愛知	80.7
4	NHK-FM(愛知)	82.5
5	Radio 80	80.0
6	NHK-FM(岐阜)	83.6
7	FM三重	78.9
8	FM静岡(K-MIX)	79.2
9	NHK-FM(静岡)	88.8
10	NHK-FM(富山)	81.5
11	FM富山	82.7
12	FM福井	76.1
13	NHK-FM(福井)	83.4
14	FM石川	80.5
15	NHK-FM(石川)	82.2
16	---	76.0
17	FM Hi!	76.9
18	マリンパル	76.3
19	FM-DINO/FMやしの実	84.3
20	Pitch FM 83.8	83.8
21	RADIO LOVEAT	78.6
22	PORT WAVE	76.8
23	FMダンボ	76.5
24	CityFM 761	76.1

福岡(FUKUOKA)：九州、沖縄地区

	AM放送	kHz
1	NHK第1(福岡)	612
2	NHK第2(熊本)	873
3	RKB毎日(熊本)	1278
4	九州朝日(熊本)	1413
5	長崎放送(NBC)	1233
6	熊本放送(RKK)	1197
7	大分放送(OBS)	1098
8	宮崎放送(MRT)	936
9	南日本放送(MBC)	1107
10	NHK第1(沖縄)	549
11	琉球放送(RBC iRadio)	738
12	ラジオ沖縄(ROK)	864

	FM放送	MHz
1	Love FM	76.1
2	FM九州(CROSS FM)	78.7
3	FM福岡	80.7
4	NHK-FM(福岡)	84.8
5	FM佐賀	77.9
6	NHK-FM(佐賀)	81.6
7	FM長崎(Smile FM)	79.5
8	NHK-FM(長崎)	84.5
9	FM中九州	77.4
10	NHK-FM(熊本)	85.4
11	FM大分	88.0
12	NHK-FM(大分)	88.9
13	FM宮崎(JOY FM)	83.2
14	NHK-FM(宮崎)	86.2
15	FM鹿児島(μ-FM)	79.8
16	NHK-FM(鹿児島)	85.6
17	FM沖縄	87.3
18	NHK-FM(沖縄)	88.1
19	FEN(AFN)	89.1
20	FRIENDS FM762	76.2
21	cityFM77	77.0
22	エフエム FM791	79.1
23	FreeWave	77.7
24	MIMICommunityNetwork	76.8

大阪(OSAKA)：近畿地区

	AM放送	kHz
1	NHK第1(大阪)	666
2	NHK第2(大阪)	828
3	朝日放送(ABC)	1008
4	毎日放送(MBS)	1179
5	ラジオ大阪(OBC)	1314
6	ラジオ関西(AM KOBE)	558
7	京都放送(KBS京都)	1143
8	和歌山放送(WBS)	1431
9	NHK第1(徳島)	945
10	四国放送(JRT)	1269
11	---	522
12	---	522

	FM放送	MHz
1	FM CO・CO・LO	76.5
2	FM802	80.2
3	FM大阪	85.1
4	NHK-FM(大阪)	88.1
5	NHK-FM(神戸)	86.5
6	Kiss-FM KOBE	89.9
7	NHK-FM(京都)	82.8
8	FM京都(α-Station)	89.4
9	E-Radio	77.0
10	NHK-FM(滋賀)	84.0
11	NHK-FM(奈良)	87.4
12	NHK-FM(和歌山)	84.7
13	FM徳島	80.7
14	NHK-FM(徳島)	83.4
15	FMいかる	76.3
16	HoneyFM	82.2
17	ハッピーFMいたみ	79.4
18	FMあいあい	82.0
19	エフエムみっきい	76.1
20	きくエフエムQ	77.9
21	YAO-FM	79.2
22	YES-fm	78.1
23	FM HANAKO	82.4
24	BeHappy!789	78.9

ちょっとこれを！

● 各バンドともすべてのプリセット番号(FMは 1 ～ 24 、AMは 1 ～ 12)に上記の放送局やある特定の周波数がプリセットされています。

ラジオを聞く （つづき）

エリアバンドプリセット一覧表(東日本) （□内数字はプリセット番号を示します。2006年3月現在）

札幌(SAPPORO)：北海道地区

	AM放送	kHz
1	NHK第1(札幌)	567
2	NHK第2(札幌)	747
3	北海道放送(HBC)(札幌)	1287
4	札幌テレビ放送(STV)(札幌)	1440
5	札幌テレビ放送(STV)(函館)	639
6	NHK第1(函館)	675
7	北海道放送(HBC)(函館)	900
8	NHK第2(函館)	1467
9	NHK第1(釧路)	585
10	札幌テレビ放送(STV)(釧路)	882
11	NHK第2(釧路)	1152
12	北海道放送(HBC)(釧路)	1404

	FM放送	MHz
1	FM北海道(Air-G')(札幌)	80.4
2	FMノースウェーブ(札幌)	82.5
3	NHK-FM(札幌)	85.2
4	FM北海道(Air-G')(旭川)	76.4
5	FMノースウェーブ(旭川)	79.8
6	NHK-FM(旭川))	85.8
7	FMノースウェーブ(函館)	79.4
8	NHK-FM(函館)	87.0
9	FM北海道(Air-G')(函館)	88.8
10	FMノースウェーブ(釧路)	80.7
11	FM北海道(Air-G')(釧路)	86.4
12	NHK-FM(釧路)	88.5
13	FM北海道(Air-G')(帯広)	78.5
14	FMノースウェーブ(帯広)	82.1
15	NHK-FM(帯広)	87.5
16	FM JAGA	77.8
17	FM kushiro/FM WING	76.1
18	FMいるか	80.7
19	FMりべーる	83.7
20	さっぽろ村ラジオ	81.3
21	ラヂオノスタルジア	78.6
22	ラジオカロスサッポロ	78.1
23	FMアップル	76.5
24	FM三角山	76.2

東京(TOKYO)：関東地区

	AM放送	kHz
1	NHK第1(東京)	594
2	NHK第2(東京)	693
3	FEN(AFN)	810
4	TBS	954
5	文化放送	1134
6	ニッポン放送	1242
7	RFラジオ日本	1422
8	茨城放送(IBS)	1197
9	栃木放送(CRT)	1530
10	山梨放送(YBS)	765
11	NHK第1(新潟)	837
12	新潟放送(BSN)	1116

	FM放送	MHz
1	FMインターウェーブ(InterFM)	76.1
2	放送大学	77.1
3	東京FM(TOKYO FM)	80.0
4	FMジャパン(J-WAVE)	81.3
5	NHK-FM(東京)	82.5
6	NHK-FM(横浜)	81.9
7	FM横浜	84.7
8	FMサウンド千葉(BAY FM)	78.0
9	NHK-FM(千葉)	80.7
10	FM埼玉(NACK5)	79.5
11	NHK-FM(埼玉)	85.1
12	NHK-FM(茨城)	83.2
13	Radio Berry	76.4
14	NHK-FM(栃木)	80.3
15	放送大学	78.8
16	NHK-FM(群馬)	81.6
17	FM群馬	86.3
18	FM富士	83.0
19	NHK-FM(山梨)	85.6
20	FM新潟	77.5
21	FM PORT	79.0
22	NHK-FM(新潟)	82.3
23	---	76.0
24	エフエム太郎	76.7

仙台(SENDAI)：東北地区

	AM放送	kHz
1	NHK第1(宮城)	891
2	NHK第2(宮城)	1089
3	東北放送(TBC)	1260
4	NHK第1(青森)	963
5	青森放送(RAB)	1233
6	NHK第1(岩手)	531
7	岩手放送(IBC)	684
8	NHK第2(秋田)	774
9	秋田放送(ABS)	936
10	NHK第1(秋田)	1503
11	山形放送(YBC)	918
12	ラジオ福島(RFC)	1458

	FM放送	MHz
1	FM仙台(Data FM)	77.1
2	NHK-FM(宮城)	82.5
3	FM青森	80.0
4	NHK-FM(青森)	86.0
5	FM岩手	76.1
6	NHK-FM(岩手)	83.1
7	FM秋田	82.8
8	NHK-FM(秋田)	86.7
9	FM山形(Boy-FM)	80.4
10	NHK-FM(山形)	82.1
11	FM福島(ふくしまFM)	81.8
12	NHK-FM(福島)	85.3
13	---	76.0
14	---	76.0
15	---	76.0
16	ラジオモンスター	76.2
17	ハーバーラジオ	76.1
18	あきたつばきだいエフエム	79.6
19	ラヂオもりおか	76.9
20	ハッピーはちのへ	76.5
21	JAIGOウェーブ	76.3
22	ほほえみ	77.9
23	泉コミュニティFM	79.7
24	FMじょんぱ	78.8

ちょっとこれを！

● 各バンドともすべてのプリセット番号(FMは 1 ～ 24 、AMは 1 ～ 12)に上記の放送局やある特定の周波数がプリセットされています。

つづく

オート(自動)/マニュアル(手動)チューニング

受信したい放送局の周波数にオート(自動)または、マニュアル(手動)で合わせます。

1 FM/AMボタンを押してバンドを選ぶ

表示窓に、前に受信していたバンドと周波数が表示されます。

● 電源が切れているときでも、FM/AMボタンを押すと自動的に電源が入り、表示窓に、前に受信していたバンドと周波数が表示されます。

押すたびに、以下のように切り換わります。

FM TUNER ←→ AM TUNER

2 TUNING＋または−TUNINGボタンを押して、希望の放送を受信する

オート(自動)スキャンチューニング

ボタンを1秒以上押し、周波数が変わり始めたら指を離します。周波数が自動的に進み、放送を受信すると自動停止します。

● ボタンを押し続けていると停止しません。

● 電波が弱く受信状態が悪い場合は、自動停止しないことがあります。

● 周囲に妨害電波がある場合は、妨害電波を受信して自動停止することがありますが、故障ではありません。

マニュアル(手動)チューニング

ボタンを短くポンポンと繰り返し押します。

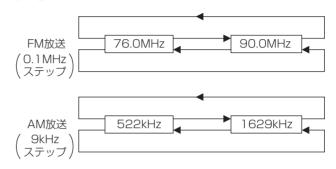
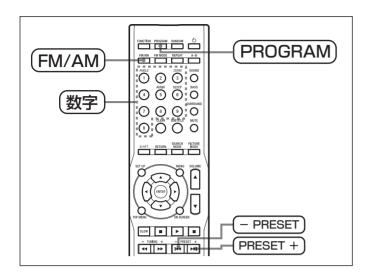
（表示窓の表示例）

85.1 MHz

ちょっとこれを！

● 選局時、周波数は正しく合わせてください。新聞の番組覧などを利用すると便利です。

周波数は次のように変わります

● 選局中、各バンドの上限、下限に達すると、周波数は各バンドの下限、上限に移ります。

ご希望の放送局をプリセットしておくと、**数字**ボタンや**PRESET ＋**または**−PRESET**ボタンを使って、簡単に選局することができます。
オート（自動）または、マニュアル（手動）でプリセットすることができ、FMは24局、AMは12局までプリセットできます。

希望局をオート（自動）プリセットする

受信できる放送局をオート（自動）でプリセットする。

1 FM/AMボタンを押してバンドを選ぶ P58

2 PROGRAMボタンを3秒以上押す

表示窓に「PROG.」が点滅表示されます。
周波数が変わり始めたら指を離します。周波数の下限から自動的に進み、受信した放送局を自動的にプリセットします。
受信できる放送局がFMで24局、AMで12局登録されるか、バンド周波数の上限に達するとオートプリセットは終了し、「PROG.」表示が消えてプリセット番号「1」に登録された放送局を受信します。

- 電波が弱く受信状態が悪い場合は、自動登録できないことがあります。
- 周囲に妨害電波がある場合は、妨害電波を受信してプリセットすることがありますが、故障ではありません。

（表示窓の表示例）

76.5 MHz

3 他のバンドでプリセットする場合は、希望のバンドに切り換えて、操作2を繰り返す

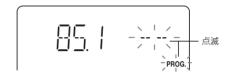
ご注意
- オートプリセットを実行すると、前の内容は消えます。

希望局をマニュアル（手動）プリセットする

受信できる放送局をマニュアル（手動）でプリセットする。

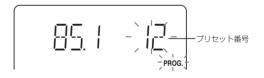
1 プリセットしたい放送局を受信する P61

2 PROGRAMボタンを押す

表示窓に「PROG.」と「−−」が約10秒間点滅表示されます。
（表示窓の表示例）

3 「PROG.」点滅中に数字ボタンを押して、プリセット番号を選ぶ

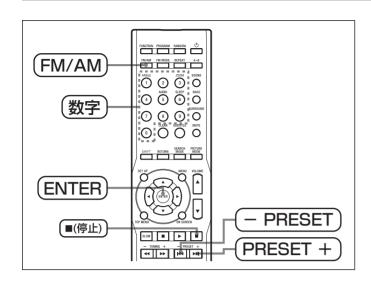
例：プリセット番号3を選ぶとき･･･ 3を押す。
　　プリセット番号12を選ぶとき･･･ 1 → 2の順に押す。

- PRESET＋または−PRESETボタンでもプリセット番号が選択できます。ボタンを繰り返し押して、プリセット番号を選びます。

（表示窓の表示例）

4 プリセット番号点滅中に、PROGRAMボタンを押す

（表示窓の表示例）

5 同じバンド内で他局をプリセットする場合は、操作1〜4を繰り返す

6 他のバンドでプリセットする場合は、希望のバンドに切り換えて、操作1〜4を繰り返す

ちょっとこれを！

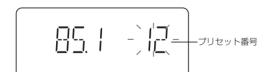
- 初めてプリセットするときは、各バンドとも、ある特定の周波数がすでにプリセットされています。
- すでに放送局がプリセットされているプリセット番号に、新しく放送局をプリセットすると、前の内容は消えます。
- プリセットの内容は電源を切っても残ります。停電などでプリセットの内容が消えた場合は、プリセットし直してください。

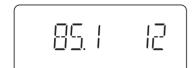
プリセットした放送局を聞く

ダイレクト選局

1 FM/AMボタンを押してバンドを選ぶ P58

2 数字ボタンを押してプリセット番号を選ぶ

例：プリセット番号3を選ぶとき･･･ 3を押す。
　　プリセット番号12を選ぶとき･･･ 1 → 2の順に押す。
（表示窓の表示例）

3 ENTERボタンを押す

（表示窓の表示例）

プリセットスキャン選局

1 FM/AMボタンを押してバンドを選ぶ P58

2 PRESET＋または－PRESETボタンを1秒以上押す

表示窓に「プリセット番号」が表示され、受信できたプリセット局を順に約5秒ずつ受信します。
（表示窓の表示例）

3 聞きたい放送を受信したら、PRESET＋または－PRESETボタンを押す

その放送を受信し続けます。
- プリセット局を一巡すると、ボタンを押す前の放送局を受信します。
- ■（停止）ボタンを押してスキャンを停止することもできます。

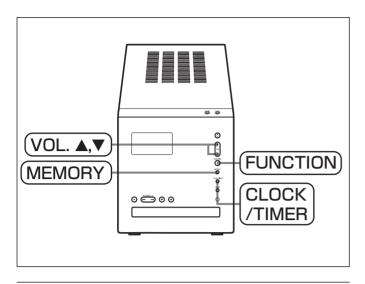
（表示窓の表示例）

プリセット選局

1 FM/AMボタンを押してバンドを選ぶ P58

2 PRESET＋または－PRESETボタンを押してプリセット番号を選ぶ

ボタンを短くポンポンと繰り返し押します。
ボタンを押すたびに次または前のプリセット局を受信します。
（表示窓の表示例）

タイマーを使う

おめざめタイマーで音楽を聞く

めざまし時計のかわりにディスクやラジオなどを鳴らすことができます。おめざめ時刻になると設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して演奏します。タイマーは一度設定すると、毎日同じ時刻に動作します。
タイマーを設定する前に必ず現在時刻を合わせてください。

準備　本機の電源を入れ、現在時刻に誤差があるときは、正しく設定をし直してください。P20

この操作は本体でおこなってください。

（例）毎日午前7：30から午前8:15までめざまし演奏をする

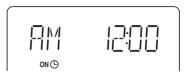
1 FUNCTIONボタンを押して、タイマー動作させたいファンクションを選ぶ

DVDやCDを聞く:　ディスクを入れ、「DVD/CD」を選ぶ
ラジオを聞く:　放送局を受信する。P57～63
外部機器を聞く:　「LINE」を選ぶ

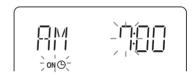
2 VOL. ▲ または ▼ ボタンを押して音量を調節する

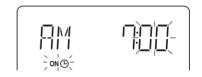
あらかじめ、タイマー演奏時の音量を設定しておきます。

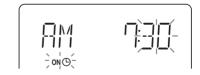
3 CLOCK/TIMERボタンを3秒以上押す

表示窓に「ON ⏲」が表示され、前回セットしためざまし開始時刻が表示されます。

4 「ON ⏲」表示中にMEMORYボタンを押す

表示窓に「ON ⏲」と「時」が点滅表示されます。

5 VOL. ▲ または ▼ ボタンを押して「時」を合わせる

6 MEMORYボタンを押す

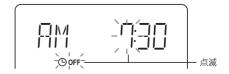
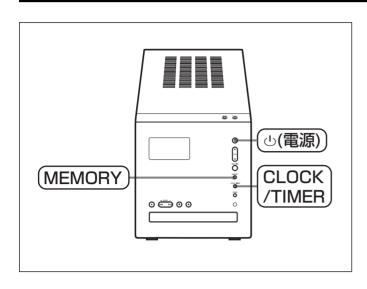
表示窓に「ON ⏲」と「分」が点滅表示されます。

7 VOL. ▲ または ▼ ボタンを押して「分」を合わせる

● 分表示が「59」から「00」になっても、「時」表示は繰りあがりません。

8 MEMORYボタンを押す

おめざめタイマー開始時刻がセットされ、表示窓に「⏲ OFF」と「時」が点滅して、タイマー開始セット時刻が表示されます。

つづく

ちょっとこれを！

- おめざめタイマー開始時刻になると自動的に電源が入り、設定した内容で演奏が始まります。このとき、音量は、無音状態から設定した音量レベルまで徐々にあがっていきます。
- おめざめタイマー動作中は、表示窓に「◷」表示が点滅します。
- おめざめタイマー停止時刻になると電源が切れ、タイマーの待機状態（毎日同じ動作をする）になります。
- おめざめタイマーは解除しない限り、毎日同じ時刻に同じ動作をします。
- おめざめタイマー動作中に ⏻（電源）ボタンを押すと、電源が切れ、タイマーの待機状態になります。
- おめざめタイマーでラジオを聞く場合、おめざめタイマー設定時の周波数（放送局）が記憶されます。

9 5〜7と同様の操作をする

めざまし停止時刻を設定します。

10 MEMORYボタンを押す

おめざめタイマーがセットされ、表示窓に「◷」が点灯して、もとの表示に戻ります。

11 ⏻（電源）ボタンを押して、電源を切る

これでおめざめタイマーの待機状態になります。「◷」が点灯したままで、現在時刻が表示されます。

- 電源が入っていると、開始時刻になってもおめざめタイマーが動作しません。

タイマーの設定内容を確認する

1 電源を入れる

2 CLOCK/TIMERボタンを3秒以上押す

表示窓に「ON ◷」とタイマー開始時刻が表示されます。

3 「ON ◷」表示中にCLOCK/TIMERボタンを押す

押すたびに、以下のように切り換わります。

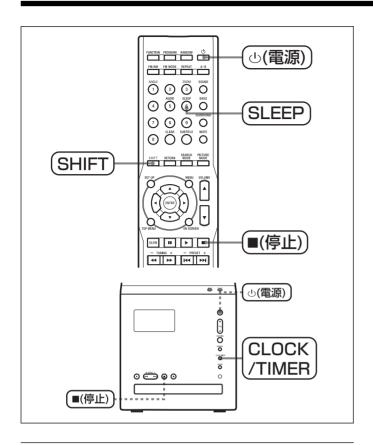
開始時刻 → 停止時刻 → 選択ファンクション（もとの表示）

タイマーの設定内容を変更する

1 電源を入れ、タイマー動作させたいファンクションに切り換える

2 CLOCK/TIMERボタンを3秒以上押す

3 CLOCK/TIMERを押して、変更したい内容表示中にMEMORYボタンを押す

4 「おめざめタイマーで音楽を聞く」 P64, 65 と同様の方法で、設定を変更する

タイマー設定を解除したり、同じ内容で設定するには

1　電源を入れる

2　CLOCK/TIMERボタンを3秒以上押す

表示窓に「ON ⏲」とタイマー開始時刻が表示されます。

3　「ON ⏲」表示中に ■（停止）ボタンを押す

タイマー設定中に押すとタイマーが解除（「⏲」表示消灯）され、タイマー解除中に押すとタイマーが設定（「⏲」表示点灯）されます。

- タイマー待機状態にしたときは、⏻（電源）ボタンを押して電源を切ってください。

おやすみタイマーを使う

おやすみタイマーを使うと、自動的に電源を切ることができます。
電源が切れるまでの時間は30分、60分、90分、120分の中から選択できます。
電源が切れる約1分前になると音量がだんだんと小さくなり、そのあと電源が切れます。

SHIFTボタンを押しながらSLEEPボタンを押して、電源が切れるまでの時間を選ぶ

表示窓に「SLEEP」と「時間」が点滅表示されます。
押すたびに、以下のように切り換わります。

→ SLEEP 30 → SLEEP 60 → SLEEP 90 →
もとの表示 ← SLEEP 120 ←

数秒後、もとの表示に戻り、表示窓に「SLEEP」が点滅表示され、設定が終了します。
おやすみタイマーを設定すると、表示窓の明るさが通常よりも暗くなります。

おやすみタイマーの動作中に、残り時間を確認する

おやすみタイマーの動作中に、SHIFTボタンを押しながらSLEEPボタンを押す

おやすみタイマーの残り時間が表示され、数秒後、もとの表示に戻ります。

- 残り時間表示中に、SHIFTボタンを押しながらSLEEPボタンボタンをポンポンと押すと、残り時間を変更することができます。

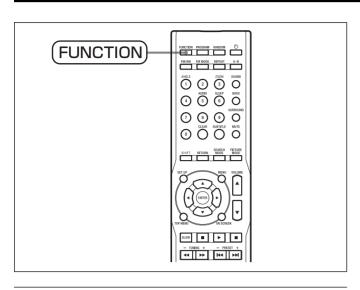
おやすみタイマーを途中で解除する

SHIFTボタンを押しながらSLEEPボタンを数回押して、「もとの表示」を選ぶ

表示窓が明るくなり、「SLEEP」の点滅表示が消えておやすみタイマーが解除されます。

おめざめタイマーと組み合わせて使うには

おめざめタイマーとおやすみタイマーを組み合わせて使うことができます。
おめざめタイマーの開始時刻に、電源が切れているようにおやすみタイマーを設定する

他の機器と組み合わせて使う

LINE IN端子(上面/背面)に接続した外部機器(ビデオやデジタルオーディオプレーヤーなど)の音声を楽しむ

本機に接続したビデオデッキやデジタルオーディオプレーヤーなどの音声を、本機のスピーカーで楽しむことができます。
接続方法は「ビデオデッキなどの音声を接続する」または「デジタルオーディオプレーヤーなどの音声を接続する」を参照してください。P17

準備　本機と接続した機器の電源を入れておきます。

1. FUNCTIONボタンを押して、「LINE 1」または「LINE 2」を選ぶ

- 上面のLINE IN 1端子へ接続した外部機器の音声を楽しむ場合は、「LINE 1」を選択します。背面のLINE IN 2端子へ接続した外部機器の音声を楽しむ場合は、「LINE 2」を選択します。
- 外部機器の音量は最小にしないでください。最小にしますと、スピーカーから音が出ません。また、逆に音量を最大にすると、音が歪むことがありますので音量を絞ってください。

2. 接続した機器を操作する

- 外部機器の音量は通常お聞きになっている音量に設定してください。

故障？ その前にちょっとこれを！

修理を依頼される前に、もう一度次の項目をお確かめください。

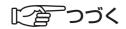
全般（電源について）

症 状	原 因	処 置	参照ページ
電源が入らない	電源コードが抜けている	コンセントに電源コードをしっかり差し込む	21
電源を入れてもすぐに切れる	スピーカーコードがショートした状態で電源を入れたため、保護回路が作動し電源が切れている	すべてのスピーカーコードが正しく接続されていることを確認する	13
	本機が落雷や過度の静電気など、外部からの強い電気ショックを受けている	本機の電源を切り、電源コードを抜いて、約30秒経ってから差し込み直して、電源を入れる	21, 22
本機が正常に作動しない	内部マイコンが外部電気ショック(落雷または過度の静電気)、または電源電圧の低下によってフリーズしている	コンセントからAC電源プラグを抜き、約30秒後にもう一度差し込む	21
初期設定などの設定内容が元に戻っている	電源コンセントが抜けたり、停電状態になっていた	もう1度設定しなおす	−

映像について

症 状	原 因	処 置	参照ページ
画像が出ない（または、画面サイズがおかしい）	テレビの入力切り換えが正しくない	テレビの入力切り換えを本機からの画像が映るように切り換える	24
	映像コードがしっかりと接続されていない	映像コードをしっかりと差し込む	15, 16
	テレビの電源が入っていない	テレビの電源を入れる	24
	プログレッシブ入力対応でないテレビとD1/D2 VIDEO OUT端子に接続しているときに、本体の映像出力方式がプログレッシブ方式に設定されている	映像出力方式をインターレース方式に設定する	49, 50
	ファンクションの切り換えが正しくない	ファンクションを「DVD/CD」にする	23
	テレビの画面サイズ設定が正しくない	接続しているテレビにあわせて正しく設定する	47

音声について

症 状	原 因	処 置	参照ページ
音声が出ない	スピーカーコードがしっかりと接続されていない	スピーカーコードをしっかりと差し込む	13
	ボリュームが下がっている	ボリュームを調節する	22
	ファンクションの切り換えが正しくない	LINE IN 1またはLINE IN 2端子へ接続コードをつないでいる機器のファンクションを選択する	23
	LINE IN 1またはLINE IN 2端子にコードがしっかりと接続されていない	接続コードをしっかりと差し込む	17
	消音されている	リモコンの**MUTE**ボタンを押して消音を取り消し、音量を調節する	22
	本機で再生できないCD-ROMなどを再生している	本機で再生可能な信号のディスクを再生する	9
音声が突然出なくなる	おめざめタイマーまたはおやすみタイマーが作動している	電源を入れて、再生しなおす	64〜66
ハム音が出る	LINE IN 1またはLINE IN 2端子にコードがしっかりと接続されていない	接続コードをしっかりと差し込む	17, 21
雑音が出る	本機がデジタル機器または高周波機器に接近しすぎている	本機をそれらの機器から離して設置する	7

ディスク再生について

症　状	原　因	処　置	参照ページ
画像がきれいに映らない	ディスクが汚れているまたは傷がある	ディスクをきれいにするまたはディスクを交換する	8
早送り／早戻しのとき画像が乱れる	多少乱れが出ることがあります	故障ではありません	−
再生が始まらない（または、すぐに停止する）	ディスクが入っていない（「NO DISC」を表示）	ディスクを入れる	24
	本機で再生できないディスクが入っている（「NO PLAY」を表示）	再生できるディスクの種類や、テレビ方式を確認する	9
	ディスクを裏返しに入れている（「NO PLAY」を表示）	再生面を下にして入れる	24
	ディスクがななめに入っている（「NO PLAY」を表示）	ディスクをディスクテーブルにきちんと固定する	24
	ディスクが汚れているまたは傷がある（「NO PLAY」を表示）	ディスクをきれいにするまたはディスクを交換する	8
	視聴年齢制限が設定されている	視聴年齢制限を解除、または規制レベルを変更する	54, 55
	リージョンコードが違っている（「NO PLAY」を表示）	リージョンコードが2もしくはALLのディスクを入れる	9
	寒いところから急に暖かいところに持ってきて、レンズ部に露が付いている	1〜2時間放置してください	7
	スクリーンセーバー機能が働いていた	スクリーンセーバー機能が働いているときは、►（再生）ボタンを押してスクリーンセーバーを解除した後、もう一度 ►（再生）ボタンを押す	21, 24
各ボタン操作ができない	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合がある（「⃠」を表示）	故障ではありません	−
音声/字幕が切り換えられない	複数の音声/字幕が入っていないディスクでは切り換えできません	故障ではありません	−
	音声/字幕切り換え操作では切り換えできないディスクでも、メニュー画面等で切り換えできる場合があります	故障ではありません	−
字幕が出ない	字幕の入っていないDVDでは字幕が表示されません	故障ではありません	−
	字幕が「OFF」になっている	いずれかの字幕を選択する	36
アングルを変えて見ることができない	複数のアングルが記録されているディスクでのみ切り換えできます	故障ではありません	−
ビデオで録画できない	ほとんどのDVDディスクはコピー禁止処理がされていて、録画できません	故障ではありません	−
プログレッシブ出力時に映像の一部が二重にぶれて見える	映像ソフトそのものの編集方法や素材の状態に起因する症状です（インターレース出力（525i）では問題なく再生できます）	映像出力方式をインターレース方式に設定する	50
ディスクトレイが開かない	ディスクトレイがロックされている	ディスクトレイのロックを解除する	56
MP3またはWMAのディスクが再生できない	対応フォーマットまたは条件が合っていない、あるいは記録状態が悪い	対応フォーマットまたは条件に合うディスクや記録状態の良いディスクに交換する	38
MP3またはWMAのディスクで読み込み時間が長い	ファイル構成の問題	故障ではありません	−
DVD再生中に画像が乱れるまたは暗い	本機ではアナログコピープロテクト方式のコピーガードにも対応しています。そのため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、テレビによっては一部画像に縞模様がでる	故障ではありません	−
DVDとCDのディスクによる音量差を感じる	一般的にDVDよりもCDの方が記録レベルが高い	故障ではありません	−
JPEGファイルが再生できない	拡張子が「.jpeg」になっている	拡張子が「.jpg」のファイルを使う	41
	対応フォーマットまたは条件が合っていない	対応フォーマットまたは条件に合うディスクに交換する	41

故障？　その前にちょっとこれを！（つづき）

FM/AM放送の受信について

症　状	原　因	処　置	参照ページ
ラジオに雑音が多く聞きづらい	電源、雑音の影響を受けている	電源コードの差し込み口を替える 電源コードのプラグ極性を逆にする 携帯電話の充電を止める	21
	モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている	本機を雑音源から離す テレビを消す アンテナの位置や角度を調節する	13, 14, 57
FM放送がステレオ放送になると雑音が多く聞きづらい	FM電波が弱い FM放送の特性により、放送局から離れた地域やアンテナ入力が弱い場合に起きる	アンテナの位置や角度を調節する FMモードを「MONO」に設定する	14, 57
プリセット選局ができない	プリセット(メモリー)が消えている	もう一度プリセットする	62
FM放送がオート選局ができない	FM放送の特性により、放送局から離れた地域やアンテナ入力が弱い場合に起きる	マニュアル選局をする アンテナの位置や角度を調節する	14, 61
AM放送がオート選局ができない	電波が弱い、あるいはアンテナの接続が不完全	AMループアンテナの方向を変える マニュアル選局をする	14, 57, 61
AM放送の感度が悪い	AMループアンテナの角度が合っていない 放送のさまたげになる壁や障害物がある	AMループアンテナの角度を調節する 窓際に本機のアンテナを近づける	14, 57

タイマーについて

症　状	原　因	処　置	参照ページ
タイマーが動作しない	タイマーON設定時刻に電源が入っている	設定時刻より前に電源を切っておく	65
	停電などで時計が止まっている	時計を設定する	20
セットした放送局が受信できない	タイマー設定後異なる放送局を受信した	放送局を受信した状態でおめざめタイマーを再設定する	65

スクリーンセーバーについて

症　状	原　因	処　置	参照ページ
画像が変わる	ディスクを再生していない状態または一時停止状態で、本体またはリモコンを操作しないで5分以上放置した	スクリーンセーバーは5分以上放置すると働くようになっています	21

リモコンについて

症　状	原　因	処　置	参照ページ
リモコンが働かない	リモコンが受光部に向いていない	リモコンの送信部を本機の受光部に向ける	21
	リモコンと受光部の間が遠すぎる	約6m以内のところで操作する	21
	リモコンと受光部の間に障害物がある	障害物を取り除く	21
	リモコンの乾電池が消耗している	乾電池を交換する	21
	本機のリモコン受光窓に直射日光や照明（インバーター蛍光灯など）が当たっている	照明、または本体の向きを変える	21

お願い

表示や動作が異常になったときは、電源を切って電源プラグを抜き、数秒後もう一度差し込んで操作し直してください。
（落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。）

用語解説

DTS（Digital TheaterSyeystem）
5.1チャンネルのスピーカーにより、限り無く原音に忠実なサラウンドを再現するためにデジタルシアターシステムズ社が開発した方式。独立した5.1チャンネルで大量の音声データをできる限り原音のまま、かつ高転送で送る技術。

D端子
デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号（Y/CB/CR）と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を1つのコネクタで接続することができる端子です。（D1/D2/D3/D4などと表記されています。）

JPEG
JPEGとは、写真などの画像ファイルを圧縮して保存する形式（画像フォーマット）のひとつで、ITU-TS（国際電気通信連合：旧CCITT）とISO（国際標準化機構）で定められたフォーマットです。JPEG形式の画像ファイルには「.jpg」という拡張子が付きます。拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号で、ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。デジタルカメラで撮った写真などもほとんどJPEG形式で保存されています。

LPCM(リニアPCM)
Linear Pulse Code Modulationの略で音声の圧縮をおこなわないデジタル音声のことをいいます。

MP3
MP3とは、MPEG1、MPEG2、MPEG2.5オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮された音楽データです。「.mp3」または「.MP3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。

MPEG
Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは、映像圧縮および音声圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式で映像を圧縮して記録しています。

WMA
WMAとは、Windows Media Audioの略でマイクロソフト社が開発したファイル形式で圧縮された音楽データです。「.wma」または「.WMA」という拡張子の付いたファイルをWMAファイルと呼びます。

アスペクト比（Aspect Ratio）
テレビ画面や画像の縦と横の長さの比のことです。

インターレース（飛び越し走査）方式/プログレッシブ（順次走査）方式
インターレース方式（525i）とは映像の1画面を2回に分けて表示します。まず、奇数番目の走査線を表示して目の残像を利用して次に偶数番目の走査線を表示して画面を構成する従来のテレビ走査方式です。通常解像度の数字の後ろに「i」をつけて表記します。
プログレッシブ方式（525p）とは映像の1画面を2回に分けず、1回で画面の上から順番に走査して表示します。そのため、インターレース方式に比べ特に静止画や文字、横線の多い画像でチカツキの少ないきれいな画面を表示できます。通常解像度の数字の後ろに「p」をつけて表記します。
(インターレース方式の表示例)

(プログレッシブ方式の表示例)

視聴年齢制限
DVDディスクの中には、視聴者の年齢に合わせてディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのようなディスクを再生するときの規制レベルを本機で設定することができます。

タイトル
HDDやDVDに記録されている映像などの一番大きな単位で、一般的に映画など市販のDVDソフトでは1作品1タイトルとなります。

チャプター
ディスクのタイトル内をいくつかのセクションで区切り、番号付けしたナンバーのことで、本の「章」番号に相当します。本機では、このチャプターナンバーが記録されていれば希望のセクションを素早く見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

ディレクトリ(Directory)/フォルダ（Folder）
ディレクトリとはハードディスクやCD-ROMなどにおける階層構造のファイル管理方式での1つの階層をさします。
階層構造とは、あるディレクトリの下にさらにディレクトリを持つことのできる構造です。また、ディレクトリをフォルダとも呼んでいます。

トラック
音楽CDなどの曲のことです。トラックには番号が付いており、音楽CDではトラック番号を指定して再生することができます。

ドルビーデジタル（Dolby Digital）
米ドルビーラボラトリーズが開発したデジタル音声圧縮方式によるマルチ･トラックのサラウンド方式を言います。フロント、リヤーの左右4チャンネルにセンタースピーカーの1チャンネルとサブウーファーの1チャンネル（重低音のみので帯域が狭いため0.1チャンネルと表示）の音声信号を足して5．1チャンネルとし、それぞれ別々に音声信号を送ることで、これまで不可能であった方向の音像移動が表現でき、総合的な臨場感の表現が可能になります。

ファイル
MP3 CDやJPEG CDに記憶されている個別のデータです。本機は、拡張子「. mp3」 や「.MP3」が付いたMP3形式の音声ファイルを再生し、拡張子「.jpg」が付いたJPEG形式の画像ファイルをスライドショーなどで表示します。

マルチアングル
DVDには同時に複数のカメラで撮影した映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を変えられるものがあります。これをマルチアングルディスクといいます。
DVDでは映像を最大9種類まで記録することができます。

マルチ音声
DVDには、1枚のディスクの中に複数の音声が記録されているものがあります。DVDでは音声を最大8種類まで記録することができ、その中からお好きな音声を選んで楽しむことができます。

マルチ字幕（サブタイトル）
映画などでおなじみの字幕です。DVDでは字幕を最大32種類まで記録することができ、その中からお好きな字幕を選んで楽しむことができます。

マルチパス（Multi-Path）
放送や通信で使用する電波がビルなどの障害物にあたって反射し、受信するまでに複数の到達経路が出来てしまうことです。発信元から受信側に直接届く電波と、反射して届く電波が干渉し、受信信号の歪みなどが発生して通信障害が発生する原因となります。

リージョンコード（地域番号）
DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号（リージョンコード）が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンコードは「2」で、本体背面部に表示されています。

レターボックス
4:3のテレビと本機を接続し、ワイド（16:9）ソフトを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。

アフターサービスについて

保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

修理サービスについて

ご使用中に調子が悪くなったときは「**故障?その前にちょっとこれを!**」 P68〜70 の一覧表に従って調べてください。なおらないときは、内部機構をさわらずに、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 保証期間中の修理は
  保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。
- 保証期間経過後の修理は
  修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

DVDミニコンポの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後8年間です。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

アフターサービスについてご不明の場合は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 転居される場合は
  ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスが受けられなくなる場合には最寄りの無印良品の販売店または販売元お客様室にお問い合わせください。
- ご贈答の場合は
  最寄りの無印良品の販売店にお問い合わせください。

愛情点検

長年ご使用のDVDミニコンポの点検を !	
このような症状はありませんか?	● 電源コードやプラグが異常に熱い ● コゲくさい臭いがする ● 電源コードに深いキズや変形がある ● その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

仕　様

総 合 部	
実用最大出力	4 W + 4 W (JEITA 、1 kHz 、4 Ω)
電源	AC 100 V　50/60 Hz
消費電力	23 W (待機消費電力 0.8 W)
質量	約 2.7 kg
外形寸法	幅 170 × 高さ 175 × 奥行 215 mm
使用条件	温度：5℃～35℃、動作姿勢：水平
時計	月差60秒以内
DVD/CD プレーヤー 部	
信号方式	NTSC カラーテレビジョン方式
使用レーザー	半導体レーザー　波長 650/790 nm
音声周波数特性	4 Hz ～ 44 kHz (DVD fs:96 kHz)
信号対雑音比 (S/N比)	105 dB以上 (JEITA)
ダイナミックレンジ	93 dB以上 (JEITA)
全高調波ひずみ率	0.003 %
ワウ・フラッタ	測定限界以下 (JEITA)
チューナー 部	
受信周波数	AM：522～1,629 kHz (9 kHzステップ) FM：76～90 MHz (100 kHzステップ)
端 子 部	
映像出力(コンポジット)	1.0 V(p-p)、75 Ω、同期負、ピンジャック X 1 系統
S映像出力	(Y) 1.0 V(p-p)、75 Ω、同期負、ミニ DIN 4 ピン X 1 系統 (C) 0.286 V(p-p)、75 Ω
D1/D2映像出力	(Y) 1.0 V(p-p)、75 Ω/(PB) 0.7 V(p-p)、75 Ω/(PR) 0.7 V(p-p)、75 Ω、同期負、D端子 X 1
デジタル音声光出力	光出力コネクター X 1 系統
ヘッドホン	適合インピーダンス 8 ～ 32 Ω X 1 系統
サブウーファー出力	500 mV、50 kΩ、ピンジャック X 1 系統
音声入力 1(上面、感度/インピーダンス)	400 mV、50 kΩ、ミニジャック X 1 系統
音声入力 2(背面、感度/インピーダンス)	800 mV、50 kΩ、ピンジャック X 1 系統
スピーカー 部	
形式	1ウェイバスレフ型
ユニット	フルレンジ 10 cm コーン型(防磁)
最大許容入力	10 W
公称インピーダンス	4 Ω
スピーカーコード長	約 1.8 m
質量(1本)	約 1.3 kg
外形寸法(1本)	幅 120 × 高さ 175 × 奥行 215 mm

付 属 品

- リモコン 1
- 映像接続コード 1
- FM室内アンテナ 1
- AM ループアンテナ 1
- ステレオミニプラグコード.................... 1

● 仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
● 本機は「高調波ガイドライン」適合品です。

無印良品DVDミニコンポ保証書

持込修理

形　名	DC-PT01M	
お客様	ふりがな お名前　　　　　　　　　　様　☎ 〒 ご住所	
取扱販売店名・住所・電話番号		
保証期間	お買いあげ日 年　月　日より	本体は1年間 （ただし消耗部品は除く）

〈無料修理規定〉

1　取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買いあげの販売店が無料修理いたします。

2　保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。

（イ）本書のご提示がない場合

（ロ）本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。

（ハ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。

（ニ）お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。

（ホ）火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。

（ヘ）一般家庭用以外（例えば、業務用）に使用された場合の故障・損傷。

（ト）消耗部品（ふたパッキン）が損耗し取り換えを要する場合。

3　保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料はお客さまの負担となります。

4　本書は日本国内においてのみ有効です。

●本書は、記載内容の範囲で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

●保証期間中に故障が発生した場合は、お買いあげの販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。
お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効です。記入のない場合は、お買いあげの販売店にお申し出ください。

●ご転居・ご贈答品などでお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、お近くの無印良品の販売店または販売元お客様室にお問い合わせください。

●本書は再発行いたしません。たいせつに保存してください。

★この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいまして、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店または販売元お客様室にお問い合わせください。

★保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間につきまして、くわしくは取扱説明書をご覧ください。

修理メモ

株式会社
良品計画　〒170-8424　東京都豊島区東池袋4-26-3
お客様室でんわ　(03)3989-5200

販売元　株式会社
良品計画
〒170-8424　東京都豊島区東池袋4-26-3
お客様室でんわ　(03)3989-5200
受付　土日を除く10:00～17:00

製造元　三洋電機株式会社
ホームエレクトロニクスグループ
AVカンパニー
〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号
電話　大東(072)870-4183(直通)

1AD6P1P2163--
(JP0)